

第1章 調査概要

1 調査目的

本アンケート調査は、平成25年9月15日から16日にかけて、京都府、滋賀県、福井県に大きな被害をもたらした「台風18号」について、本市における防災情報の伝達状況や避難行動の実態などを調査・分析することにより、防災情報伝達のあり方や改善点を検証し、今後の防災対策の強化につなげていくことを目的とするものである。

2 標本数の算出方法

必要標本数の算出は以下の理論に基づいて行う。

(1) 単純無作為抽出法による標本調査の標本誤差 F

単純無作為抽出法による標本調査の標本誤差 F は以下の式により表される。

$$|p - P| = 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{(1-P)P}{n}} \equiv F \dots\dots(1)$$

N : 母集団の成員数
 n : 標本数
 P : 母集団の調査事項に対する調査結果の比率
 p : 標本の調査事項に対する調査結果の比率

(2) 目標の標本誤差 F を与えた場合に必要となる標本数 n

上記(1)式をもとにして、抑えるべき目標の標本誤差 (F) を与えた場合に必要となる標本数 n^* の理論値を(1)式の逆算により算出する。以下の(2)式で求めた n^* に(3)式で修正係数を乗じて n^{**} を計算するという手順により算出する。

$$n^* = \left(\frac{2}{F}\right)^2 (1-P)P \dots\dots(2)$$

$$n^{**} = n^* \times \frac{N}{N+n^*-1} \dots\dots(3)$$

3 標本数の算出結果

標本数の算出条件は以下のとおりとする。

(1) 算出条件

N : アンケート対象人口 (敦賀市 20 歳以上人口 (H25. 3. 29 現在) 【55,188 人】)

P : 0.5 ($P = 50%$ の時に標本誤差が最大となるため)

F : 0.05 (信頼水準 95%=95%の確かさと設定)

(2) 算出結果

$$n^* = \left(\frac{2}{F}\right)^2 (1-P)P = \left(\frac{2}{0.05}\right)^2 \times (1-0.5) \times 0.5 = 400$$

$$n^{**} = n^* \times \frac{N}{N + n^* - 1} = 400 \times \frac{55,188}{55,188 + 400 - 1} = \underline{397}$$

よって、回収率 100%と仮定した場合に必要な標本数は 397 部となる。

次項に、上記の必要な標本数に対して、実際の回収率 (70%~10%) を考慮した必要配布数を示す。

回収率別の必要配布部数 (標本誤差 5%の場合)

標本算出結果			回収率	必要配布数
N	20 歳以上人口	55,188	70%	567
F	目標とする標本誤差	5%	60%	662
P	母集団の調査事項に対する調査結果の比率	0.5	50%	794
n^*		400	40%	993
n^{**}	回収率 100%時の必要標本数	397	30%	1,323
			20%	1,985
			10%	3,970

また、回収率の設定は、敦賀市が過去に実施したアンケート調査の事例を参考とし、30%~40%とした。

これより、今回のアンケートにおける配布部数は 1,200 部と決定した。

4 調査対象及び調査方法

(1) 調査対象

平成 25 年 10 月 29 日現在の 20 歳以上人口から無作為抽出した 1,200 名

(2) 調査方法

郵送配布・郵送回収

(3) 調査期間

平成 25 年 11 月 2 日（土）～11 月 12 日（火）

5 調査項目

- ・ 特別警報に関する項目
- ・ 避難勧告（避難準備情報）に関する項目
- ・ 防災伝達手段についての市民意識に関する項目

6 調査票の回収状況（H25.11.20 現在）

地区名	アンケート 配布部数 (部)	アンケート 回収部数 (部)	アンケート 回収率 (%)	備考
北地区	70	29	41.4	
南地区	130	45	34.6	
西地区	150	69	46.0	
松原地区	230	89	38.7	
西浦地区	10	3	30.0	
東浦地区	30	13	43.3	
中郷地区	40	18	45.0	
東郷地区	120	40	33.3	
愛発地区	20	7	35.0	
栗野地区	400	140	35.0	
不明	—	1	—	地区名未記入分
総合計	1,200	454	37.8	

7 主な調査結果

(1) 単純集計

- ① 市全体（母集団）と比較した場合、西地区・松原地区の回収率が高い。（7頁）
- ② 「避難準備情報」は67%、「特別警報」及び「避難勧告」は約82%の回答者が認識していた。（8頁、10頁、12頁）
- ③ 「避難準備情報」は敦賀市防災情報配信メール（TonBoメール）により認識した回答者が最も多かった。（9頁）
- ④ 「特別警報」を知ったタイミングは、1時間以内が58%、2時間以内が79%となっている。（10頁）
- ⑤ 「特別警報」を知った情報源は、テレビ29%、防災ラジオ26%の順となっている。（11頁）
- ⑥ 「避難勧告」を知った情報源は、防災ラジオ28%、テレビ24%の順となっている。（13頁）
- ⑦ 「避難勧告」を知っていた回答者のうち、自宅以外への避難が8%、自宅内での避難が7%となっており、合わせて15%となっている。（14頁）
- ⑧ 自宅内での避難行動も含め避難行動をとった理由は、避難勧告に従おうと思ったが37%で最も高かった。（15頁）
- ⑨ 本市からの防災情報について、非常にわかりやすかった、ある程度理解できたと合わせて77%となっている。（17頁）
- ⑩ 防災ラジオの認知度94%と比較し、敦賀市防災情報配信メール（TonBoメール）の認知度は53%と低いものとなった。（19頁、20頁）

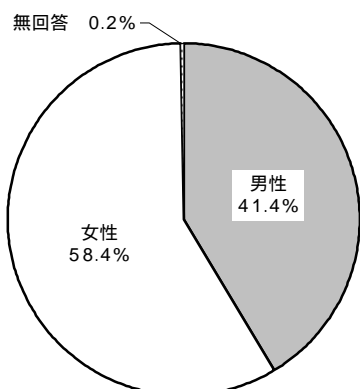
(2) クロス集計

- ① 「特別警報」及び「避難勧告」を知った情報源について、発令後、早い時間帯では防災ラジオの割合が高くなっている。(24頁、25頁)
- ② 自宅内を含め避難行動をとった回答者の割合は、西地区が最も高かった。(27頁)
- ③ 情報を収集する際に、最も有効だった情報源に関して、「本市から発信したもの(Aグループ)」については、ケーブルテレビの防災放送チャンネル、防災ラジオが、いずれの年代でも比較的高い割合を示していた。(28頁)
- ④ 同じく若年層では、防災関連メールが高い割合となる傾向となった。(28頁)
- ⑤ 情報を収集する際に、最も有効だった情報源に関して、「情報収集するツール(Bグループ)」については、テレビがいずれの年代でも高く、年齢層が高くなるにつれ割合も高くなる傾向となった。(29頁)
- ⑥ 防災ラジオの認知度について、若年層の方が設置済みの割合が低く、あえて設置しない割合が高くなっている。(32頁)
- ⑦ 災害時要援護者の認知度について、災害時に「要援護者」として援護をうける可能性の高い高齢者ほど認知度が高く、逆に援護する側となる可能性の高い若年齢層ほど低くなっている(34頁)
- ⑧ 災害時要援護者と同居している方のほうが、「避難勧告」が出されたことを知っている割合が比較的高かった。(36頁)
- ⑨ 自宅以外に避難した割合は、要援護者との同居の有無で差違は見られなかったが、自宅内避難の割合は、要援護者と同居している方は低くなった。(36頁)
- ⑩ 防災ラジオの設置について、災害時要援護者と同居している方のほうが、同居していない方と比較し、約10%高い割合となっている。(37頁)

第2章 単純集計結果

1. あなたご自身についてお尋ねします。

問1 あなたの性別は

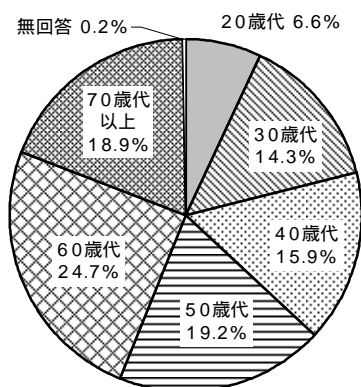


市全体(母集団)と比較した場合、女性の回収率が高い傾向となった。

項目	人数 (割合)
男性	188人 (41.4%)
女性	265人 (58.4%)
無回答	1人 (0.2%)
総数	454人

参考
[市全体の状況]
49.1%
50.9%
100.0%

問2 あなたの年代は

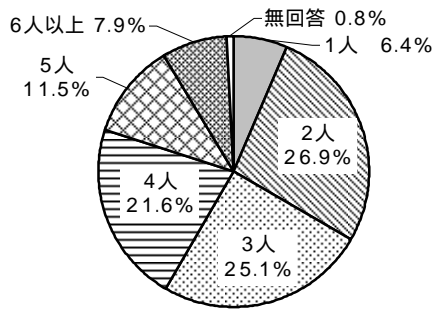


市全体(母集団)と比較した場合、60歳代、70歳代以上の回収率が高い傾向となった。

項目	人数 (割合)
20歳代	31人 (6.8%)
30歳代	65人 (14.3%)
40歳代	72人 (15.9%)
50歳代	87人 (19.2%)
60歳代	112人 (24.7%)
70歳代以上	86人 (18.9%)
無回答	1人 (0.2%)
総数	454人

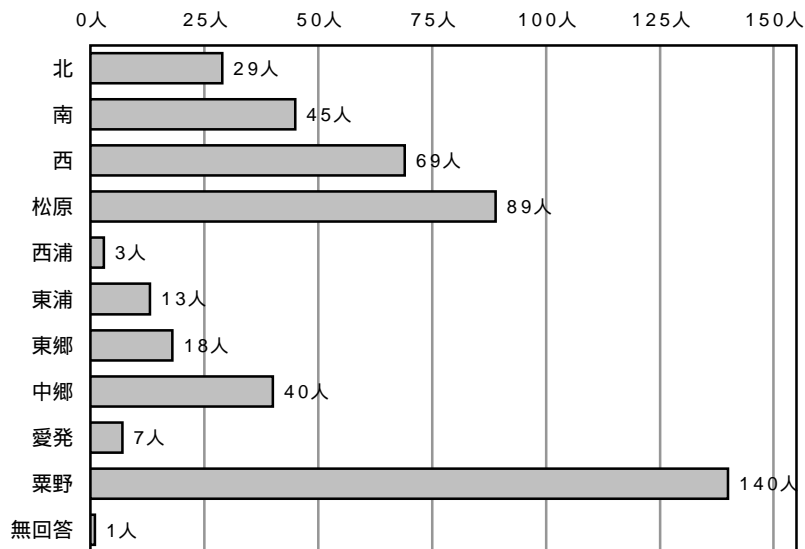
参考
[市全体の状況]
13.8%
17.5%
18.3%
17.7%
19.3%
13.4%
100.0%

問3 あなたのご家族は何人ですか



項目	人数 (割合)
1人	29人 (6.4%)
2人	122人 (26.9%)
3人	114人 (25.1%)
4人	98人 (21.6%)
5人	52人 (11.5%)
6人以上	35人 (7.7%)
無回答	4人 (0.8%)
総数	454人

問4 あなたのお住まいの地区はどちらですか



市全体(母集団)と比較した場合、西地区、松原地区の回収率が高い傾向となっている。

項目	人数 (割合)
北地区	29人 (6.4%)
南地区	45人 (9.9%)
西地区	69人 (15.2%)
松原地区	89人 (19.6%)
西浦地区	3人 (0.7%)
東浦地区	13人 (2.9%)
東郷地区	18人 (4.0%)
中郷地区	40人 (8.8%)
愛発地区	7人 (1.5%)
粟野地区	140人 (30.8%)
無回答	1人 (0.2%)
総数	454人

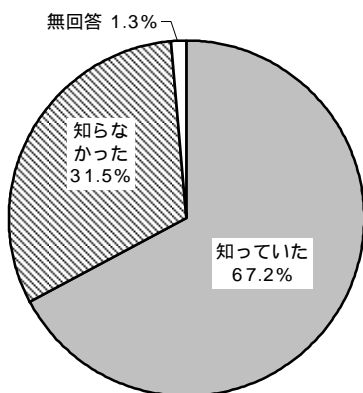
参考
市全体の状況

5.9%
10.4%
12.5%
19.2%
0.9%
2.3%
3.6%
10.2%
1.2%
33.8%
100.0%

2. 台風18号（9月16日）当日の状況をお尋ねします

問5. 「避難準備情報」について

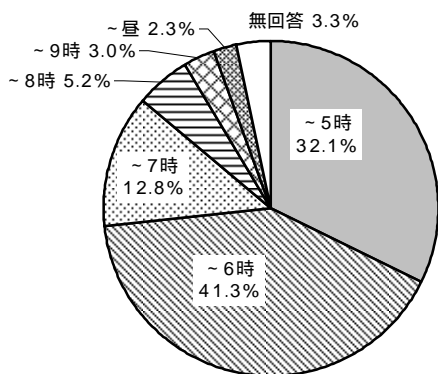
- 1) 台風18号の際、敦賀市では9月16日の午前4時15分に避難準備情報を発令しました。あなたは、「避難準備情報」が出されたことをご存知でしたか。



避難準備情報が発令されたことを67%の回答者が知っていた。

項目	人数 (割合)
知っていた	305人 (67.2%)
知らなかった	143人 (31.5%)
無回答	6人 (1.3%)
総数	454人

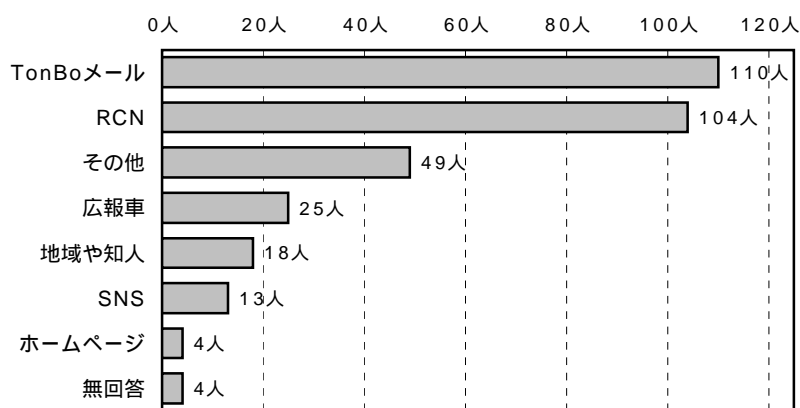
- 2) 1.)で「知っていた」と回答された方にお尋ねします。
「避難準備情報」を最初に知ったのはいつ頃ですか。



避難準備情報を知ったタイミングは、発令から1時間以内が32%、2時間以内が73%となっている。

項目	人数 (割合)
当日午前4時すぎから午前5時ごろまで	98人 (32.1%)
当日午前5時すぎから午前6時ごろまで	126人 (41.3%)
当日午前6時すぎから午前7時ごろまで	39人 (12.8%)
当日午前7時すぎから午前8時ごろまで	16人 (5.2%)
当日午前8時すぎから午前10時ごろまで	9人 (3.0%)
当日午前10時頃から昼ごろまで	7人 (2.3%)
当日の昼より後	0人 (0.0%)
無回答	10人 (3.3%)
総数	305人

3) 「避難準備情報」が発令されたことを初めに知ったのはどのような情報源でしたか。



TonBoメール(34%)が最も多く、次いでケーブルテレビ(32%)となっている。

その他の自由記載 20件

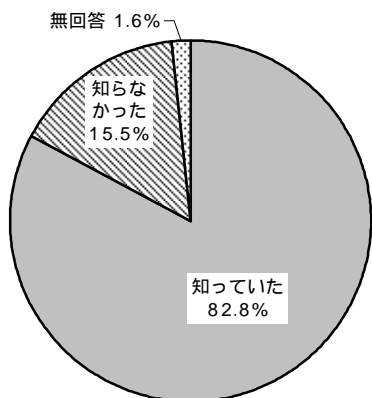
- ・防災ラジオ(8件)
- ・テレビ(6件)
- ・エリアメール(3件)
- ・携帯・スマートフォン(2件)
- ・知人からの連絡(1件)

項目	人数 (割合)
敦賀市防災情報配信メール(TonBoメール)	110人 (33.6%)
ケーブルテレビ(RCN)の防災放送チャンネル	104人 (31.8%)
その他	49人 (15.0%)
市役所や消防の広報車	25人 (7.6%)
知人や地域の人からの連絡や情報提供	18人 (5.5%)
ツイッターなどのソーシャルネットワークサービス	13人 (4.0%)
敦賀市のホームページ	4人 (1.2%)
無回答	4人 (1.3%)
総数	327人

1人の回答者が複数の回答を選択した意見も反映されている。

問6. 「特別警報」について

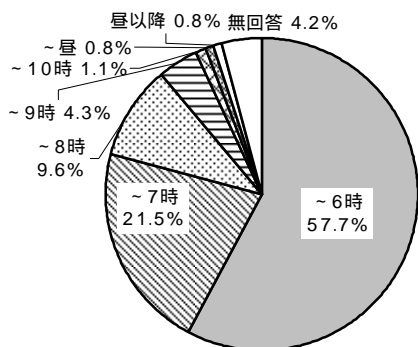
- 1) 台風18号の際、9月16日の午前5時05分、福井県に大雨特別警報が発令されました。あなたは、「大雨特別警報」が出されたことをご存知でしたか。



特別警報が発令されたことを83%の回答者が知っていた。

項目	人数 (割合)
知っていた	376人 (82.8%)
知らなかった	71人 (15.6%)
無回答	7人 (1.6%)
総数	454人

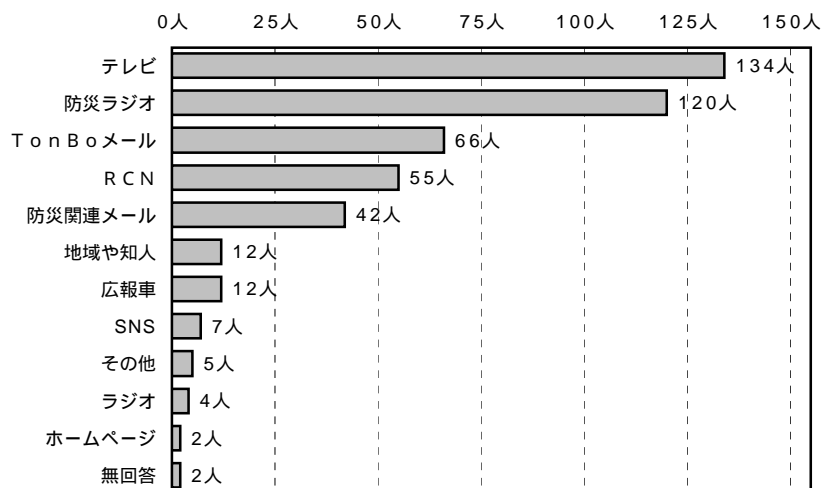
- 2) 1)で「知っていた」と回答された方にお尋ねします。「特別警報」を最初に知ったのはいつ頃ですか。



特別警報を知ったタイミングは、発令から1時間以内が58%、2時間以内が79%となっている。

項目	人数 (割合)
当日午前5時すぎから午前6時ごろまで	217人 (57.7%)
当日午前6時すぎから午前7時ごろまで	81人 (21.5%)
当日午前7時すぎから午前8時ごろまで	36人 (9.6%)
当日午前8時すぎから午前9時ごろまで	16人 (4.3%)
当日午前9時すぎから午前10時ごろまで	4人 (1.1%)
当日午前10時頃から昼ごろまで	3人 (0.8%)
当日の昼より後	3人 (0.8%)
無回答	16人 (4.2%)
総数	376人

3) 「特別警報」が発令されたことを初めに知ったのはどのような情報源ですか。



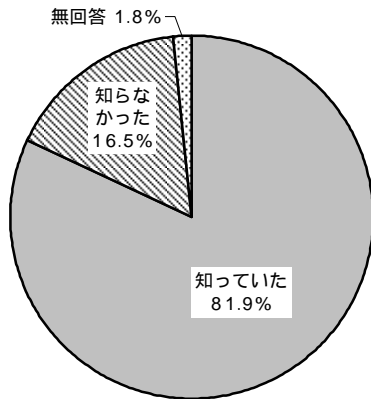
テレビ(29%)が最も多く、次いで防災ラジオ(26%)、TonBoメール(14%)となっている。

項目	人数 (割合)
(NHKなど)テレビの放送	134人 (29.1%)
防災情報受信機(防災ラジオ)	120人 (26.0%)
敦賀市防災情報配信メール(TonBoメール)	66人 (14.3%)
ケーブルテレビ(RCN)の防災放送チャンネル	55人 (11.9%)
(緊急速報メールなど)の防災関連メール	42人 (9.1%)
知人や地域の人からの連絡や情報提供	12人 (2.6%)
市役所や消防の広報車	12人 (2.6%)
ツイッターなどのソーシャルネットワークサービス(SNS)	7人 (1.5%)
その他	5人 (1.1%)
(一般の)ラジオ放送	4人 (0.9%)
敦賀市のホームページ	2人 (0.4%)
無回答	2人 (0.5%)
総数	461人

複数選択した意見も反映されているため、合計が454人にならない。

問7. 「避難勧告」について

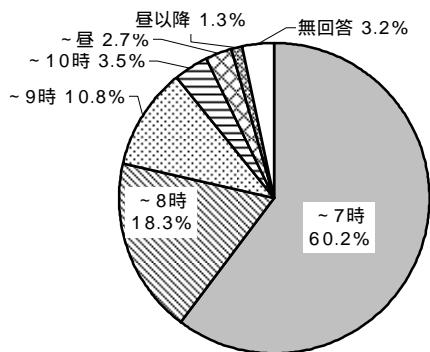
- 1) 台風18号の際、敦賀市では、9月16日の午前5時25分に笙の川左右岸の地区、午前6時40分に櫛林・砂流地区、及び午前8時50分に市内全域に避難勧告を発令しました。あなたは、「避難勧告」が出されたことをご存知でしたか。



避難勧告が発令されたことを82%の回答者が知っていた。

項目	人数 (割合)
知っていた	372人 (81.9%)
知らなかった	74人 (16.3%)
無回答	8人 (1.8%)
総数	454人

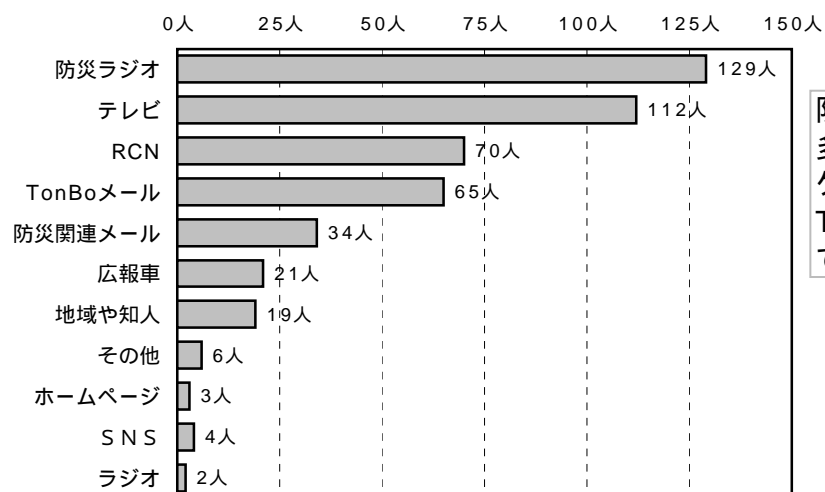
- 2) 1)で「知っていた」と回答された方にお尋ねします。「避難勧告」を最初に知ったのはいつ頃ですか。



避難勧告を知ったタイミングは、午前の7時ごろまでが60%、午前8時ごろまでが79%となっている。

項目	人数 (割合)
当日午前5時半すぎから午前7時ごろまで	224人 (60.2%)
当日午前7時すぎから午前8時ごろまで	68人 (18.3%)
当日午前8時すぎから午前9時ごろまで	40人 (10.8%)
当日午前9時すぎから午前10時ごろまで	13人 (3.5%)
当日午前10時頃から昼ごろまで	10人 (2.7%)
当日の昼より後	5人 (1.3%)
無回答	12人 (3.2%)
総数	372人

3) 「避難勧告」が発令されたことを初めに知ったのは、どのような情報源でしたか。

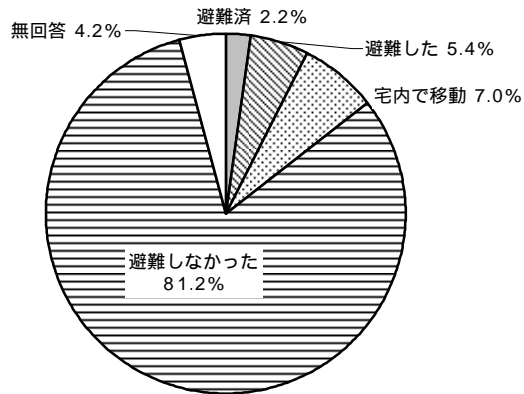


防災ラジオ(28%)が最も多く、次いでテレビ(24%)、ケーブルテレビ(15%)、TonBoメール(14%)となっている。

項目	人数 (割合)
防災情報受信機(防災ラジオ)	129人 (27.7%)
(NHKなど)テレビ放送	112人 (24.1%)
ケーブルテレビ(RCN)の防災放送チャンネル	70人 (15.1%)
敦賀市防災情報配信メール(TonBoメール)	65人 (14.0%)
(緊急速報メールなど)の防災関連メール	34人 (7.3%)
市役所や消防の広報車	21人 (4.5%)
知人や地域の人からの連絡や情報提供	19人 (4.1%)
その他	6人 (1.3%)
敦賀市のホームページ	3人 (0.6%)
ツイッターなどのソーシャルネットワークサービス(SNS)	4人 (0.9%)
(一般の)ラジオ放送	2人 (0.4%)
総数	465人

複数選択した意見も反映されているため、合計が454人にならない。

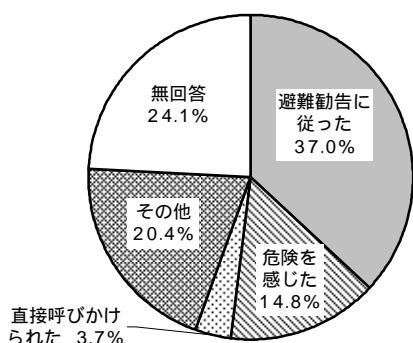
問8. 問7 1)にて、「知っていた」と回答した方にお尋ねします。
 あなたは、避難勧告が出たことを知った後、どのように行動しましたか。



避難行動を取ったのは自宅以外への避難が8%、自宅内での避難が7%となっており、合わせて15%となっている。

項目	人数 (割合)
すでに自宅から他の場所へ避難していた	8人 (2.2%)
自宅から他の場所へ避難した	20人 (5.4%)
自宅でより安全と思う場所に移動した	26人 (7.0%)
特に避難行動を取らなかった	302人 (81.2%)
無回答	16人 (4.2%)
総数	372人

問9. 問8にて、「すでに自宅から他の場所へ避難していた」「自宅から他の場所へ避難した」「自宅より安全と思う場所へ移動した」と回答した方にお尋ねします。
 あなたが避難行動を取った理由はなぜですか。



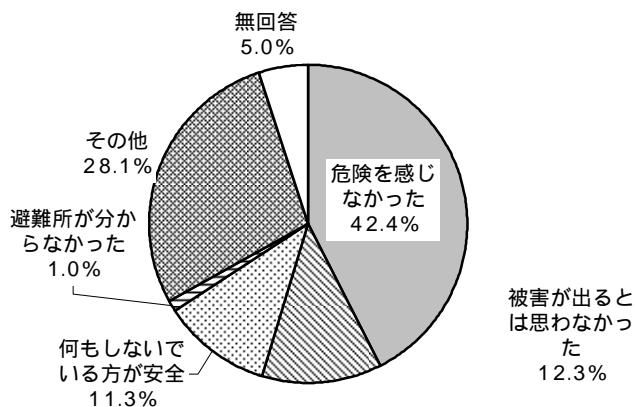
避難勧告に従おうと思ったが37%と最も多くなっている。

その他の自由記載 6件

- ・河川状況を確認したから(2件)
- ・車が心配だった(1件)
- ・その他(3件)

項目	人数 (割合)
避難勧告が出たので、それに従おうと思ったから	20人 (37.0%)
各種の気象情報から、洪水や土砂崩れの危険を感じたから	8人 (14.8%)
近隣の人や消防団から避難を直接呼びかけられたから	2人 (3.7%)
地区内が浸水し始めたから	0人 (0.0%)
その他	11人 (20.4%)
無回答	13人 (24.1%)
総数	54人

問10. 問8にて、「特に避難行動を取らなかった」と回答した方にお尋ねします。
 あなたが避難行動を取らなかった理由はなぜですか。



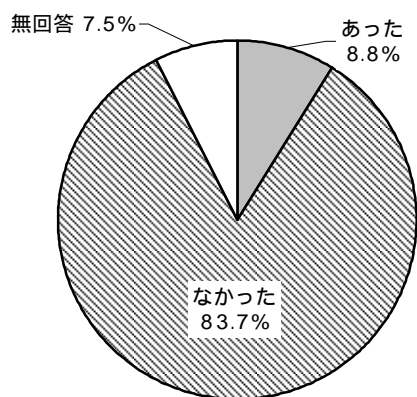
危険を感じなかったが42%と最も多く、次いでその他、過去の台風から判断となっている。

その他の自由記載 44件

- ・居住地の立地環境、建物特性を踏まえて自己判断した(12件)
- ・各種関連情報から自己判断した(10件)
- ・避難地域ではないと思っていたため(7件)
- ・勤務中だったため(6件)
- ・周囲が避難行動を取る様子が見えなかったため(3件)
- ・外へ出ることの危険性を感じたため(2件)
- ・その他(4件)

項目	人数 (割合)
各種の気象情報から洪水や土砂崩れの危険を感じなかったから	128人 (42.4%)
過去の台風被害から判断して被害が出るとは考えなかったから	37人 (12.3%)
何もしないでいる方が安全だと思ったから	34人 (11.3%)
避難所がどこにあるかわからなかったから	3人 (1.0%)
その他	85人 (28.1%)
無回答	15人 (4.9%)
総数	302人

問11. あなたの地域では、地域住民同士による避難活動の支援（避難の呼びかけ、避難活動の支援など）がありましたか。あった場合、その具体的な内容をお書きください。



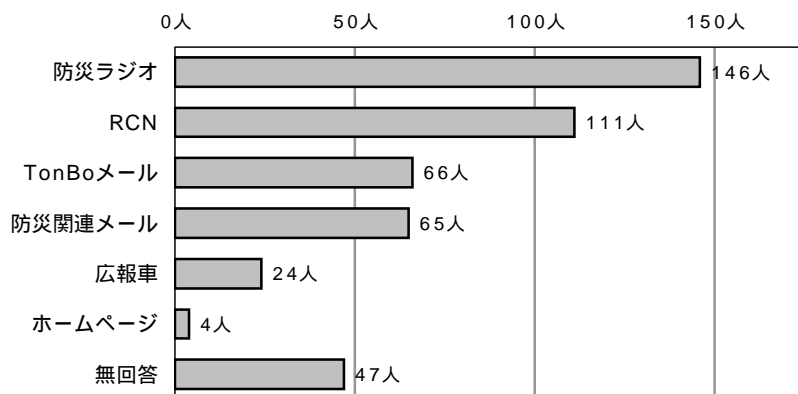
84%の回答者が避難活動の支援がなかったとしているものの、9%の回答者は何らかの避難活動支援があったと回答している。

項目	人数（割合）
あった	40人（8.8%）
なかった	380人（83.7%）
無回答	34人（7.5%）
総数	454人

問12. 当時、台風等気象の情報を収集する際に、最も有効だった情報源はどれですか。

A、Bそれぞれのグループからひとつずつ選んでください。

Aグループ

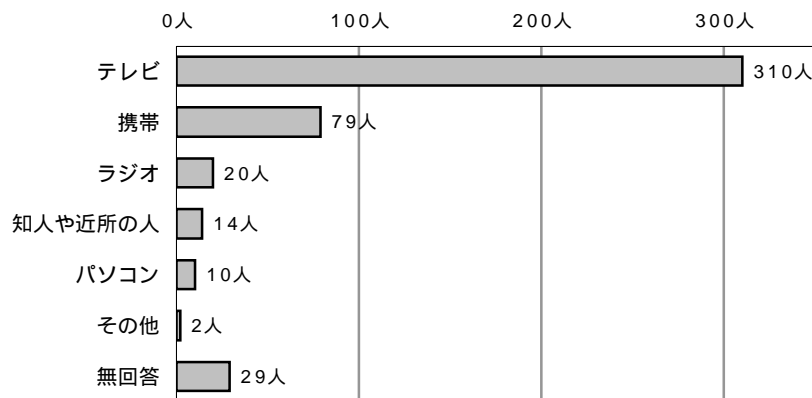


防災ラジオが32%と最も多く、次いでケーブルテレビ(24%)となっている。

項目	人数（割合）
防災情報受信機(防災ラジオ)	146人（31.5%）
ケーブルテレビ(RCN)の防災放送チャンネル	111人（24.0%）
敦賀市防災情報配信メール(TonBoメール)	66人（14.3%）
(緊急速報メールなど)の防災関連メール	65人（14.0%）
市役所や消防の広報車	24人（5.2%）
敦賀市のホームページ	4人（0.9%）
無回答	47人（10.1%）
総数	463人

複数選択した意見も反映されているため、合計が454人にならない。

Bグループ

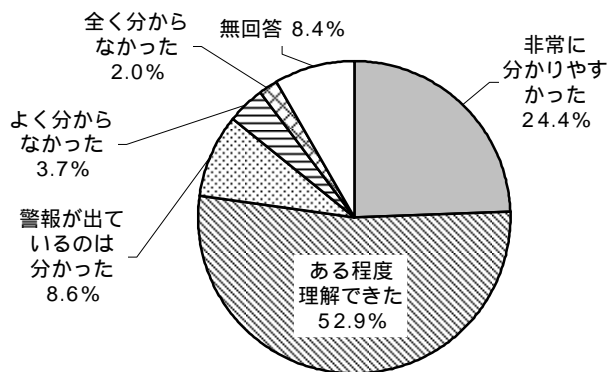


テレビが67%と最も多く、次いでスマートフォン・携帯電話(17%)となっている。

項目	人数 (割合)
テレビ	310人 (66.8%)
スマートフォン又は携帯電話	79人 (17.0%)
ラジオ	20人 (4.3%)
知人や地域の人からの連絡や情報提供	14人 (3.0%)
パソコン	10人 (2.2%)
その他	2人 (0.4%)
無回答	29人 (6.3%)
総数	464人

複数選択した意見も反映されているため、合計が454人にならない。

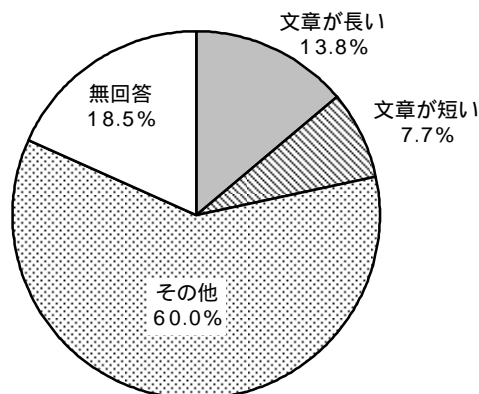
問13. 今回の台風18号では、敦賀市からの避難勧告等の防災情報をケーブルテレビ(RCN)防災放送チャンネル、敦賀市防災情報配信メール(TonBメール)防災情報受信機(防災ラジオ)、広報車などを活用し、お知らせを行いました。お知らせした情報については、分かりやすかったですか。



非常に分かりやすかった、ある程度理解できたで77%となっている。

項目	人数 (割合)
非常に分かりやすかった	111人 (24.4%)
ある程度理解できた	240人 (52.9%)
内容はよく分からなかったが、何らかの警報等が出ていることは分かった	39人 (8.6%)
よく分からなかった	17人 (3.7%)
全く分からなかった	9人 (2.0%)
無回答	38人 (8.4%)
総数	454人

問14. 問13にて、「内容はよく分からなかったが何らかの警報等が出ていることは分かった」「よく分からなかった」「全く分からなかった」と回答した方にお尋ねします。
分からなかった理由はなんですか。



そのほか60%と最も高くなっている。文章が長い、文章が短い共に低い。

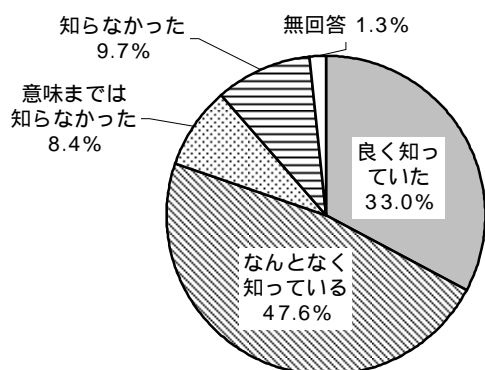
その他の自由記載 18件

- ・警報が出ていること自体知らなかった(寝ていた、音が聞こえなかった等)(7件)
- ・家にいなかった(3件)
- ・その他(質問の回答になっていない)(7件)

項目	人数 (割合)
文章が長すぎて分からなかった	9人 (13.8%)
文章が短すぎて分からなかった	5人 (7.7%)
その他	39人 (60.0%)
無回答	12人 (18.5%)
総数	65人

3. あなたの防災関連情報についての把握状況をお尋ねします

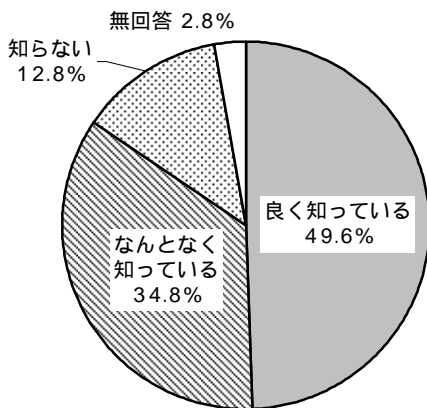
問15. 気象庁はこれまで、大雨、地震、津波、高潮などにより重大な災害の起こるおそれがある時に、警報を発表して警戒を呼びかけていました。これに加え、平成25年8月30日から、この警報の発表基準をはるかに超える豪雨や大津波等が予想され、重大な災害の危険性が著しく高まっている場合、新たに「**特別警報**」を発表し、最大限の警戒を呼び掛けています。
あなたは「**特別警報**」についてご存知ですか。



良く知っている、なんとなく知っているが81%となっている。

項目	人数 (割合)
良く知っていた	149人 (32.8%)
なんとなく知っていた	215人 (47.4%)
聞いたことあるが意味まで知らなかった	38人 (8.4%)
知らなかった(初めて知った)	44人 (9.7%)
無回答	8人 (1.7%)
総数	454人

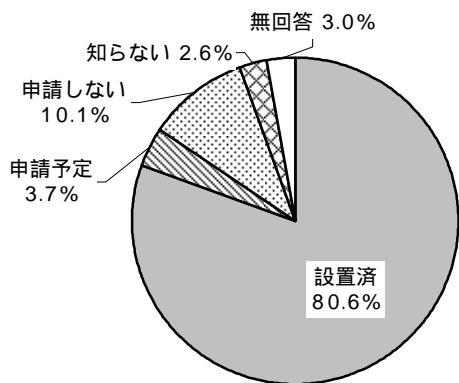
問16. あなたはお住まいの近くの避難所をご存知ですか。



良く知っている、なんとなく知っているが84%となっている。

項目	人数 (割合)
良く知っている	225人 (49.6%)
なんとなく知っている	158人 (34.8%)
知らない	58人 (12.8%)
無回答	13人 (2.8%)
総数	454人

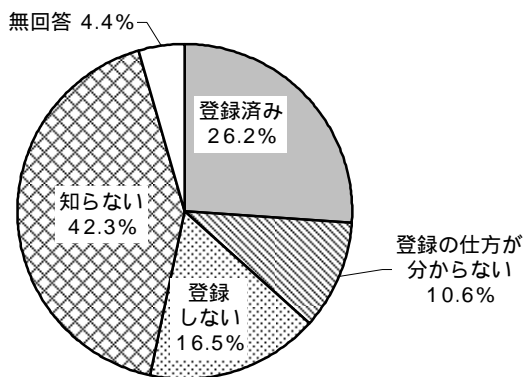
問17. あなたは防災情報受信機（防災ラジオ）をご存知ですか。



設置しているが81%。また知っているが94%となっている。

項目	人数 (割合)
知っており設置もしている	366人 (80.6%)
知っており今後申請をする予定	17人 (3.7%)
知っているがあえて申請していない	46人 (10.1%)
知らない	12人 (2.6%)
無回答	13人 (3.0%)
総数	454人

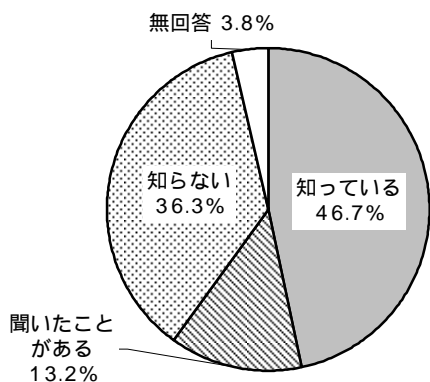
問18. あなたは敦賀市防災情報配信メール(TonBoメール)をご存知ですか。



知っているが53%、知らないが42%となっている。また登録しているが26%となっている。

項目	人数 (割合)
知っており登録もしている	119人 (26.2%)
知っているが登録の仕方がわからない	48人 (10.6%)
知っているがあえて登録していない	75人 (16.5%)
知らない	192人 (42.3%)
無回答	20人 (4.4%)
総数	454人

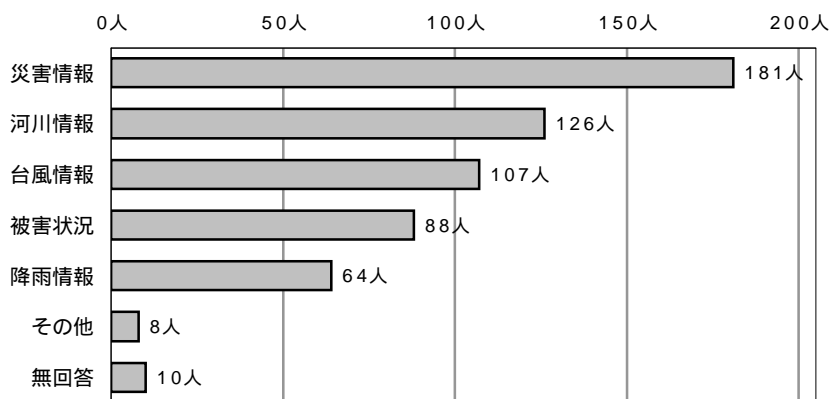
問19. あなたは緊急速報メール(エリアメールなど)をご存知ですか



知っているが47%となっている。

項目	人数 (割合)
知っている	212人 (46.7%)
聞いたことはあるが内容は知らない	60人 (13.2%)
知らない	165人 (36.3%)
無回答	17人 (3.8%)
総数	454人

問20. もしあなたが避難等の行動をとる場合、最も参考となる情報は何だと考えますか。



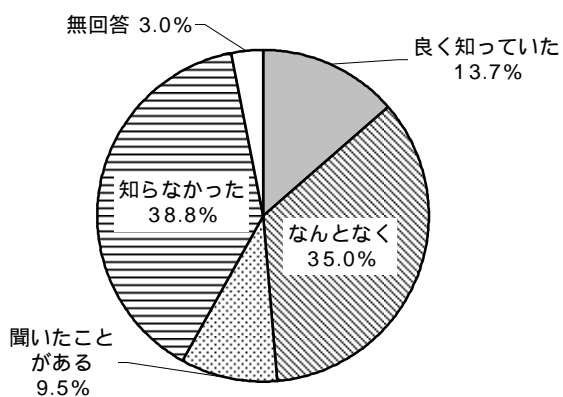
市役所からの災害情報が最も多く31%、次いで河川情報となっている。

項目	人数 (割合)
市役所からの災害情報 (避難勧告など)	181人 (65.3%)
河川の情報 (河川水位や河川カメラの映像など)	126人 (45.5%)
台風の情報 (進路予測や暴風域など)	107人 (38.6%)
市内の被害に関する情報	88人 (31.8%)
降雨の情報 (実測降雨量、予測雨量など)	64人 (23.1%)
その他	8人 (2.9%)
無回答	10人 (3.6%)
総数	277人

1人の回答者が複数の回答を選択した意見も反映されている。

問21. 災害時要援護者についてお尋ねします

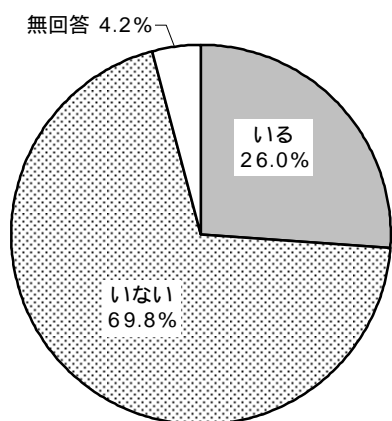
- 1) 高齢者、障がい者、外国人、乳幼児、妊産婦の方々など、災害時に手助けが必要な人たちを「災害時要援護者」といいますが、あなたは「災害時要援護者」についてご存知でしたか。



良く知っていた、なんとなく知っていたで、49%となっている。

項目	人数 (割合)
良く知っていた	62人 (13.7%)
なんとなく知っていた	159人 (35.0%)
聞いたことがあるが意味まで知らなかった	43人 (9.5%)
知らなかった (初めて知った)	176人 (38.8%)
無回答	14人 (3.0%)
総数	454人

2) ご同居の方に「災害時要援護者」はいますか。

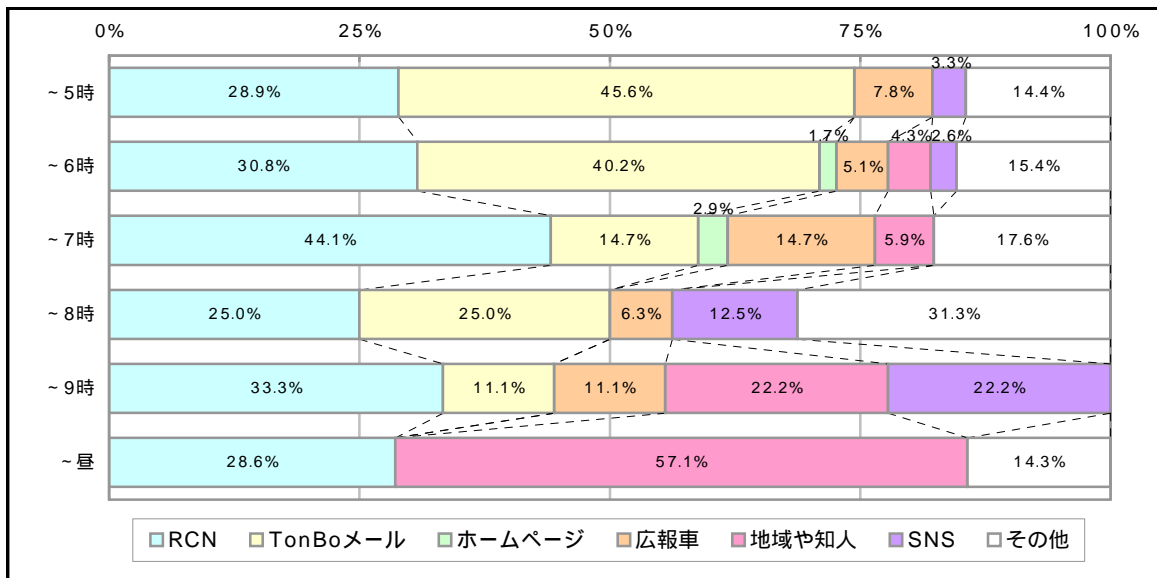


要援護者が同居者にいるのは26%の回答者となっている。

項目	人数 (割合)
いる	118人 (26.0%)
いない	317人 (69.8%)
無回答	19人 (4.2%)
総数	454人

第3章 クロス集計結果

問5 3) 「避難準備情報」を初めに知ったのはどのような情報源でしたか。〔時刻別〕

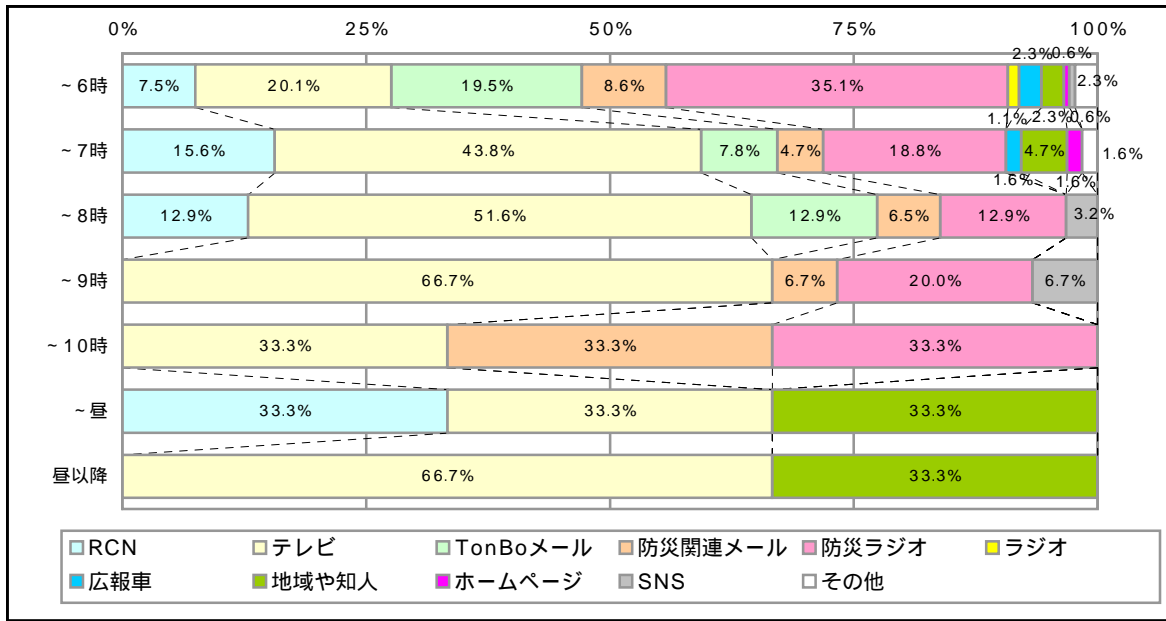


	RCNの 防災放送 チャンネル	敦賀市 防災情報 配信メール	敦賀市の ホーム ページ	市役所や 消防の 広報車	知人や地域の人 からの連絡や 情報提供
~5時	26人 (28.9%)	41人 (45.6%)	0人 (0.0%)	7人 (7.8%)	0人 (0.0%)
~6時	36人 (30.8%)	47人 (40.2%)	2人 (1.7%)	6人 (5.1%)	5人 (4.3%)
~7時	15人 (44.1%)	5人 (14.7%)	1人 (2.9%)	5人 (14.7%)	2人 (5.9%)
~8時	4人 (25.0%)	4人 (25.0%)	0人 (0.0%)	1人 (6.3%)	0人 (0.0%)
~9時	3人 (33.3%)	1人 (11.1%)	0人 (0.0%)	1人 (11.1%)	2人 (22.2%)
~昼	2人 (28.6%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	4人 (57.1%)
総数	86人 (31.5%)	98人 (35.9%)	3人 (1.1%)	20人 (7.3%)	13人 (4.8%)

	ソーシャル ネットワーク サービス	その他	総数
~5時	3人 (3.3%)	13人 (14.4%)	90人 (100.0%)
~6時	3人 (2.6%)	18人 (15.4%)	117人 (100.0%)
~7時	0人 (0.0%)	6人 (17.6%)	34人 (100.0%)
~8時	2人 (12.5%)	5人 (31.3%)	16人 (100.0%)
~9時	2人 (22.2%)	0人 (0.0%)	9人 (100.0%)
~昼	0人 (0.0%)	1人 (14.3%)	7人 (100.0%)
総数	10人 (3.7%)	43人 (15.8%)	273人

・早い時間帯においてTonBoメールの比率が高いため即時性が高いことがわかる。
 ・RCNについては継続的な情報伝達効果が高いことがわかる。

問 6 3) 「特別警報」を初めに知ったのはどのような情報源でしたか。〔時刻別〕



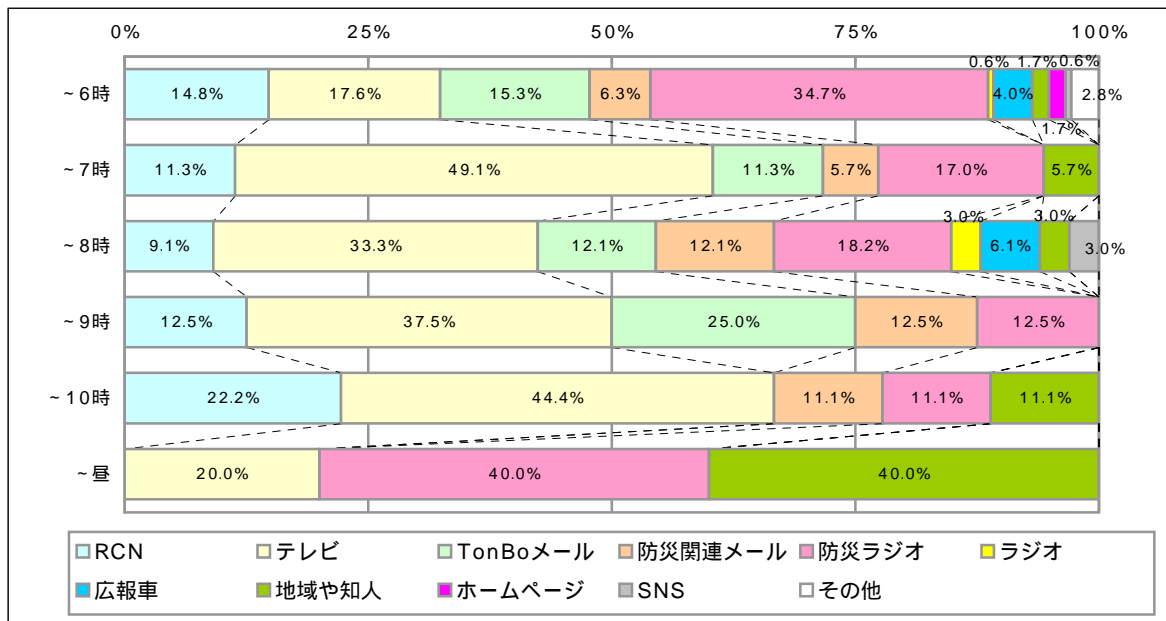
	RCNの 防災放送 チャンネル	(NHKなどの) テレビ放送	敦賀市 防災情報 配信メール	防災関連 メール	防災情報 受信機 (防災ラジオ)
~6時	13人 (7.5%)	35人 (20.1%)	34人 (19.5%)	15人 (8.6%)	61人 (35.1%)
~7時	10人 (15.6%)	28人 (43.8%)	5人 (7.8%)	3人 (4.7%)	12人 (18.8%)
~8時	4人 (12.9%)	16人 (51.6%)	4人 (12.9%)	2人 (6.5%)	4人 (12.9%)
~9時	0人 (0.0%)	10人 (66.7%)	0人 (0.0%)	1人 (6.7%)	3人 (20.0%)
~10時	0人 (0.0%)	1人 (33.3%)	0人 (0.0%)	1人 (33.3%)	1人 (33.3%)
~昼	1人 (33.3%)	1人 (33.3%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)
昼以降	0人 (0.0%)	2人 (66.7%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)
総数	28人 (9.6%)	93人 (31.7%)	43人 (14.7%)	22人 (7.5%)	81人 (27.6%)

	(一般の) ラジオ放送	市役所や 消防の 広報車	知人や地域の人 からの連絡や 情報提供	敦賀市の ホームページ	ソーシャル ネットワーク サービス
~6時	2人 (1.1%)	4人 (2.3%)	4人 (2.3%)	1人 (0.6%)	1人 (0.6%)
~7時	0人 (0.0%)	1人 (1.6%)	3人 (4.7%)	1人 (1.6%)	0人 (0.0%)
~8時	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	1人 (3.2%)
~9時	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	1人 (6.7%)
~10時	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)
~昼	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	1人 (33.3%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)
昼以降	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	1人 (33.3%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)
総数	2人 (0.7%)	5人 (1.7%)	9人 (3.1%)	2人 (0.7%)	3人 (1.0%)

	その他	総数
~6時	4人 (2.3%)	174人 (100.0%)
~7時	1人 (1.6%)	64人 (100.0%)
~8時	0人 (0.0%)	31人 (100.0%)
~9時	0人 (0.0%)	15人 (100.0%)
~10時	0人 (0.0%)	3人 (100.0%)
~昼	0人 (0.0%)	3人 (100.0%)
昼以降	0人 (0.0%)	3人 (100.0%)
総数	5人 (1.7%)	293人 (100.0%)

・(NHKなどの)テレビ放送が全体的に高い割合を占めている。
 ・避難準備警報の場合と比較し、RCNの割合が低く、防災ラジオが高くなっている。
 ・早い時間帯では、防災ラジオの割合が高くなっている。

問7 3) 「避難勧告」を初めに知ったのはどのような情報源でしたか。〔時刻別〕



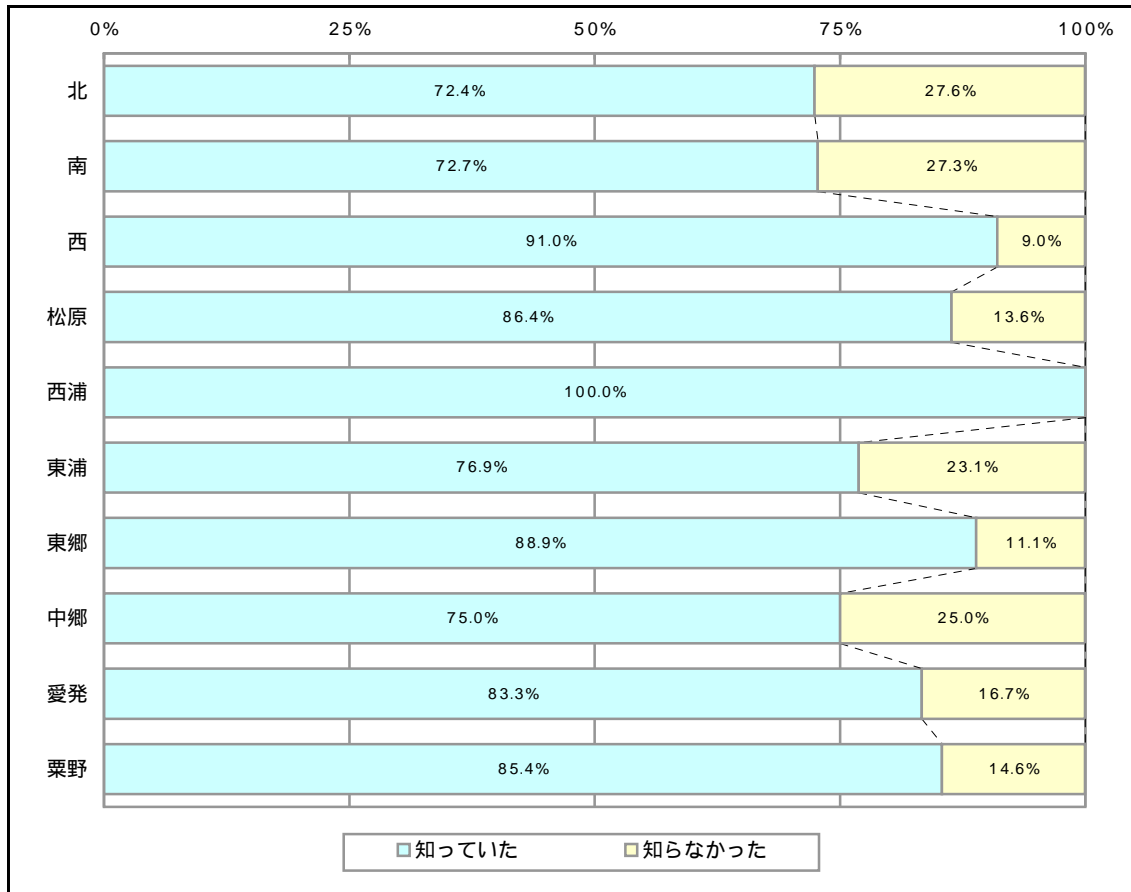
	RCNの 防災放送 チャンネル	(NHKなどの) テレビ放送	敦賀市 防災情報 配信メール	防災関連 メール	防災情報 受信機 (防災ラジオ)
~6時	26人 (14.8%)	31人 (17.6%)	27人 (15.3%)	11人 (6.3%)	61人 (34.7%)
~7時	6人 (11.3%)	26人 (49.1%)	6人 (11.3%)	3人 (5.7%)	9人 (17.0%)
~8時	3人 (9.1%)	11人 (33.3%)	4人 (12.1%)	4人 (12.1%)	6人 (18.2%)
~9時	1人 (12.5%)	3人 (37.5%)	2人 (25.0%)	1人 (12.5%)	1人 (12.5%)
~10時	2人 (22.2%)	4人 (44.4%)	0人 (0.0%)	1人 (11.1%)	1人 (11.1%)
~昼	0人 (0.0%)	1人 (20.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	2人 (40.0%)
総数	38人 (13.4%)	76人 (26.8%)	39人 (13.7%)	20人 (7.0%)	80人 (28.2%)

	(一般の) ラジオ放送	市役所や 消防の 広報車	知人や地域の人 からの連絡や 情報提供	敦賀市の ホームページ	ソーシャル ネットワーク サービス
~6時	1人 (0.6%)	7人 (4.0%)	3人 (1.7%)	3人 (1.7%)	1人 (0.6%)
~7時	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	3人 (5.7%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)
~8時	1人 (3.0%)	2人 (6.1%)	1人 (3.0%)	0人 (0.0%)	1人 (3.0%)
~9時	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)
~10時	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	1人 (11.1%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)
~昼	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	2人 (40.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)
総数	2人 (0.7%)	9人 (3.2%)	10人 (3.5%)	3人 (1.1%)	2人 (0.7%)

	その他	総数
~6時	5人 (2.8%)	176人 (100.0%)
~7時	0人 (0.0%)	53人 (100.0%)
~8時	0人 (0.0%)	33人 (100.0%)
~9時	0人 (0.0%)	8人 (100.0%)
~10時	0人 (0.0%)	9人 (100.0%)
~昼	0人 (0.0%)	5人 (100.0%)
総数	5人 (1.8%)	284人 (100.0%)

・避難準備警報と同様に (NHKなどの)テレビ放送、RCNが高い割合を占めている。
 ・早い時間帯(~6時)では、防災ラジオの割合が高くなっている。

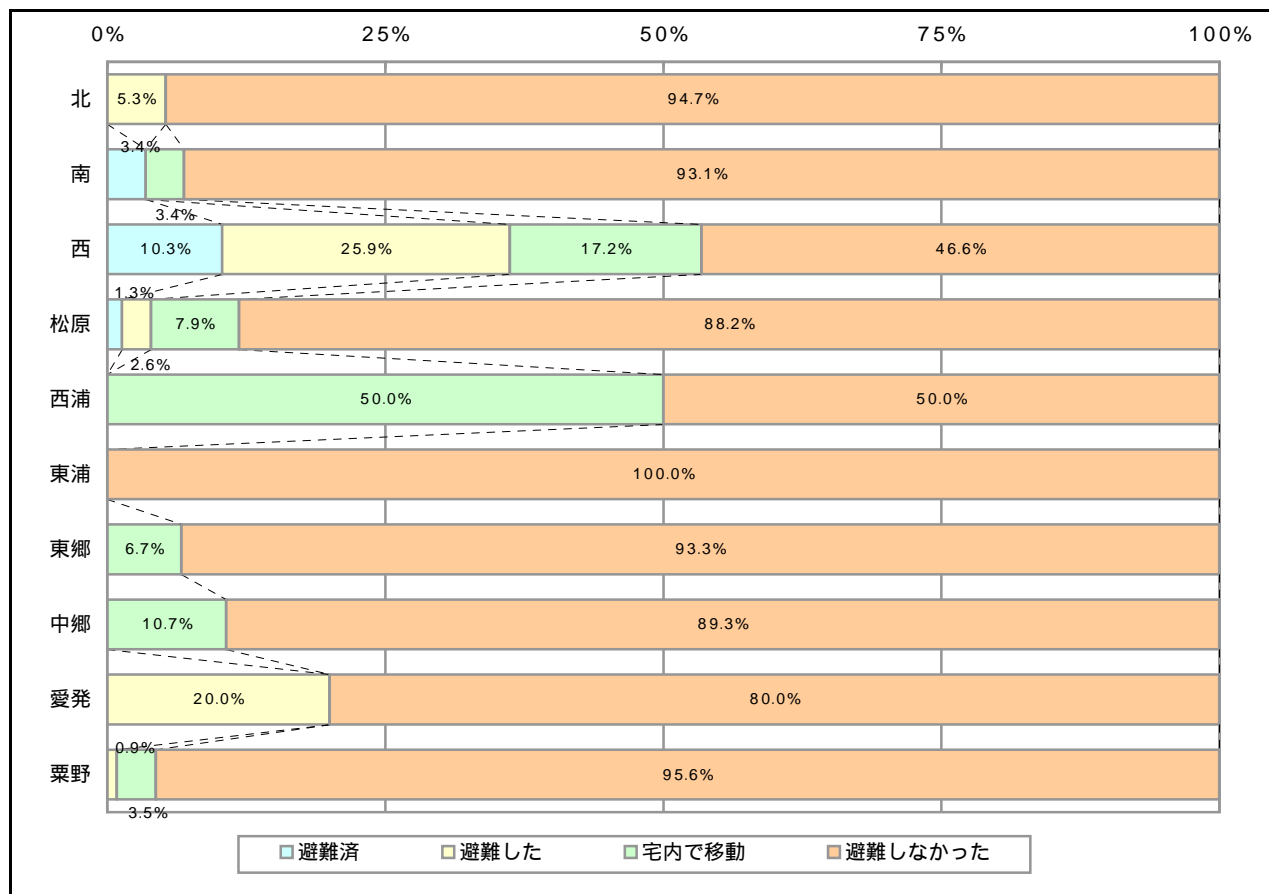
問7 1) 「避難勧告」が出されたことをご存知でしたか。〔地区別〕



	知っていた	知らなかった	総数
北地区	21人 (72.4%)	8人 (27.6%)	29人 (100.0%)
南地区	32人 (72.7%)	12人 (27.3%)	44人 (100.0%)
西地区	61人 (91.0%)	6人 (9.0%)	67人 (100.0%)
松原地区	76人 (86.4%)	12人 (13.6%)	88人 (100.0%)
西浦地区	3人 (100.0%)	0人 (0.0%)	3人 (100.0%)
東浦地区	10人 (76.9%)	3人 (23.1%)	13人 (100.0%)
東郷地区	16人 (88.9%)	2人 (11.1%)	18人 (100.0%)
中郷地区	30人 (75.0%)	10人 (25.0%)	40人 (100.0%)
愛発地区	5人 (83.3%)	1人 (16.7%)	6人 (100.0%)
栗野地区	117人 (85.4%)	20人 (14.6%)	137人 (100.0%)
総数	371人 (83.4%)	74人 (16.6%)	445人 (100.0%)

・知っていたと回答した割合が西地区、松原地区、栗野地区で特に高いことから、笙の川に対する危険性の認識が高かったことがわかる。

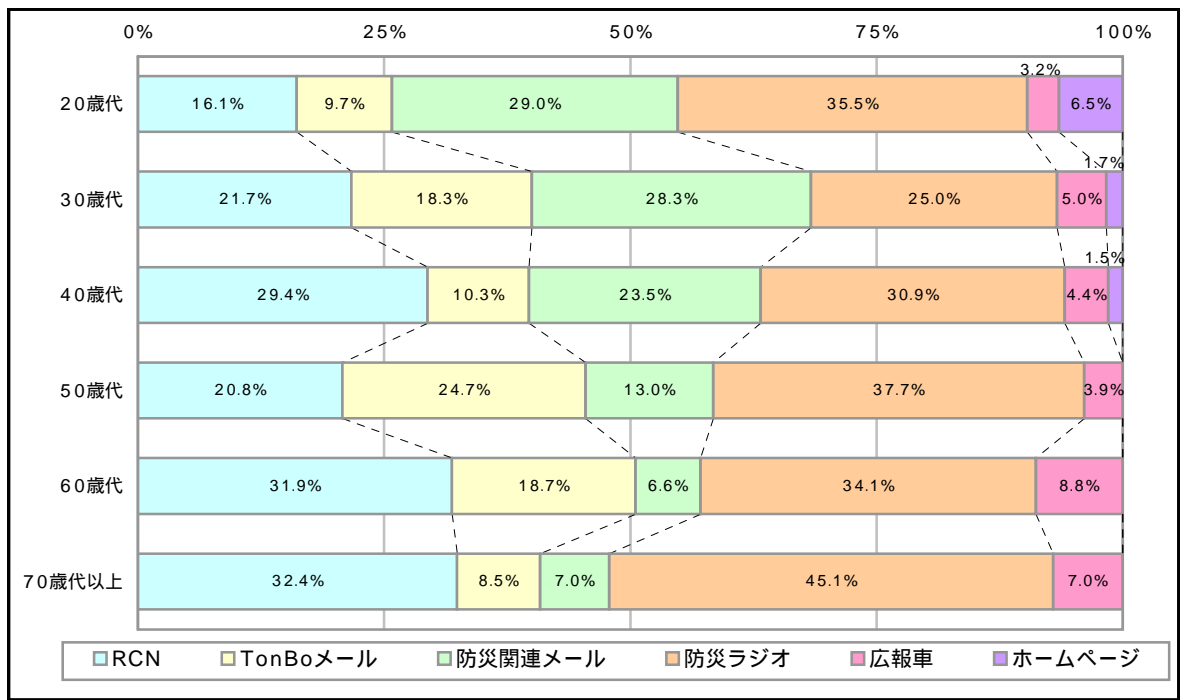
問8 「避難勧告」が出た後、どのように行動しましたか。〔地区別〕



	すでに自宅から他の場所へ避難していた	自宅から他の場所へ避難した	自宅より安全と思う場所に移動した	特に避難行動を取らなかった	総数
北地区	0人 (0.0%)	1人 (5.3%)	0人 (0.0%)	18人 (94.7%)	19人 (100.0%)
南地区	1人 (3.4%)	0人 (0.0%)	1人 (3.4%)	27人 (93.1%)	29人 (100.0%)
西地区	6人 (10.3%)	15人 (25.9%)	10人 (17.2%)	27人 (46.6%)	58人 (100.0%)
松原地区	1人 (1.3%)	2人 (2.6%)	6人 (7.9%)	67人 (88.2%)	76人 (100.0%)
西浦地区	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	1人 (50.0%)	1人 (50.0%)	2人 (100.0%)
東浦地区	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	10人 (100.0%)	10人 (100.0%)
東郷地区	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	1人 (6.7%)	14人 (93.3%)	15人 (100.0%)
中郷地区	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	3人 (10.7%)	25人 (89.3%)	28人 (100.0%)
愛発地区	0人 (0.0%)	1人 (20.0%)	0人 (0.0%)	4人 (80.0%)	5人 (100.0%)
栗野地区	0人 (0.0%)	1人 (0.9%)	4人 (3.5%)	109人 (95.6%)	114人 (100.0%)
総数	8人 (2.2%)	20人 (5.6%)	26人 (7.3%)	302人 (84.8%)	356人 (100.0%)

- ・西地区、愛発地区は、宅外への避難を実行した割合が高くなっている。
- ・自宅内を含め、西地区で避難行動を取った人の割合が高かった。

問 1 2 最も有効だった情報源はどれですか。 Aグループ〔年齢層別〕

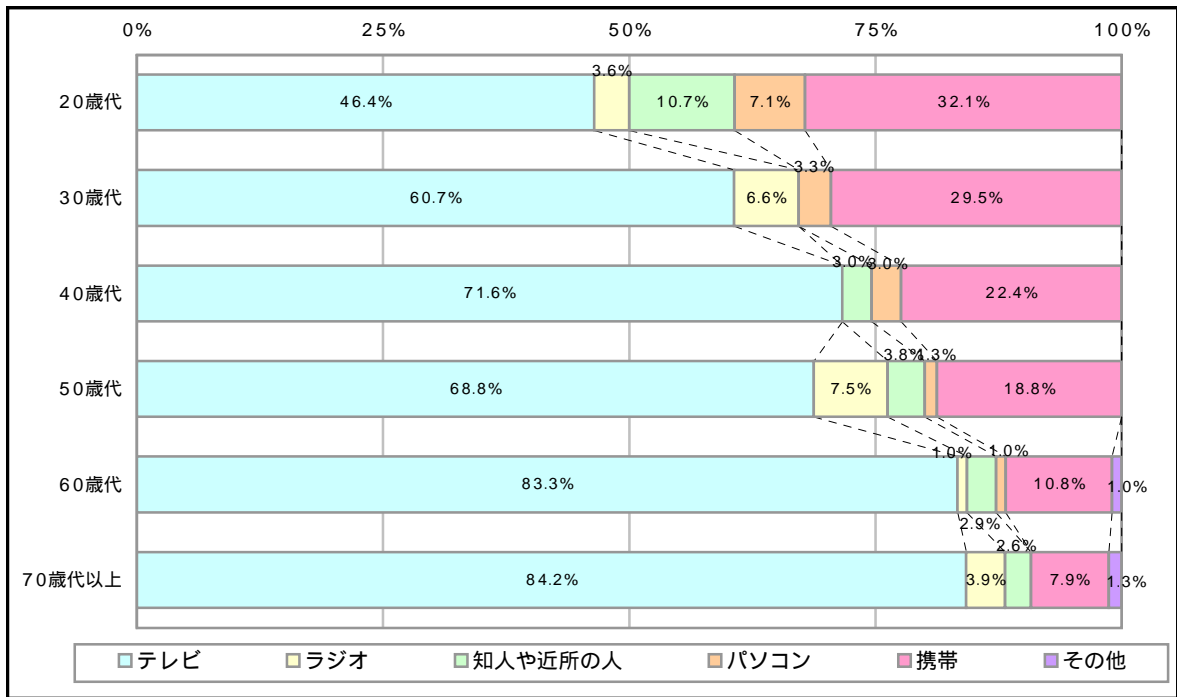


	RCN	TonBoメール	防災関連メール	防災ラジオ	広報車
20歳代	5人 (16.1%)	3人 (9.7%)	9人 (29.0%)	11人 (35.5%)	1人 (3.2%)
30歳代	13人 (21.7%)	11人 (18.3%)	17人 (28.3%)	15人 (25.0%)	3人 (5.0%)
40歳代	20人 (29.4%)	7人 (10.3%)	16人 (23.5%)	21人 (30.9%)	3人 (4.4%)
50歳代	16人 (20.8%)	19人 (24.7%)	10人 (13.0%)	29人 (37.7%)	3人 (3.9%)
60歳代	29人 (31.9%)	17人 (18.7%)	6人 (6.6%)	31人 (34.1%)	8人 (8.8%)
70歳代以上	23人 (32.4%)	6人 (8.5%)	5人 (7.0%)	32人 (45.1%)	5人 (7.0%)
総数	106人 (26.6%)	63人 (15.8%)	63人 (15.8%)	139人 (34.9%)	23人 (5.8%)

	ホームページ	総数
20歳代	2人 (6.5%)	31人 (100.0%)
30歳代	1人 (1.7%)	60人 (100.0%)
40歳代	1人 (1.5%)	68人 (100.0%)
50歳代	0人 (0.0%)	77人 (100.0%)
60歳代	0人 (0.0%)	91人 (100.0%)
70歳代以上	0人 (0.0%)	71人 (100.0%)
総数	4人 (1.0%)	398人 (100.0%)

・RCN、防災ラジオはいずれの年代においても高い割合を占めている。
 ・防災関連メールは、若年齢層の方が高い割合となる傾向となっている。

問 1 2 最も有効だった情報源はどれですか。 Bグループ〔年齢層別〕

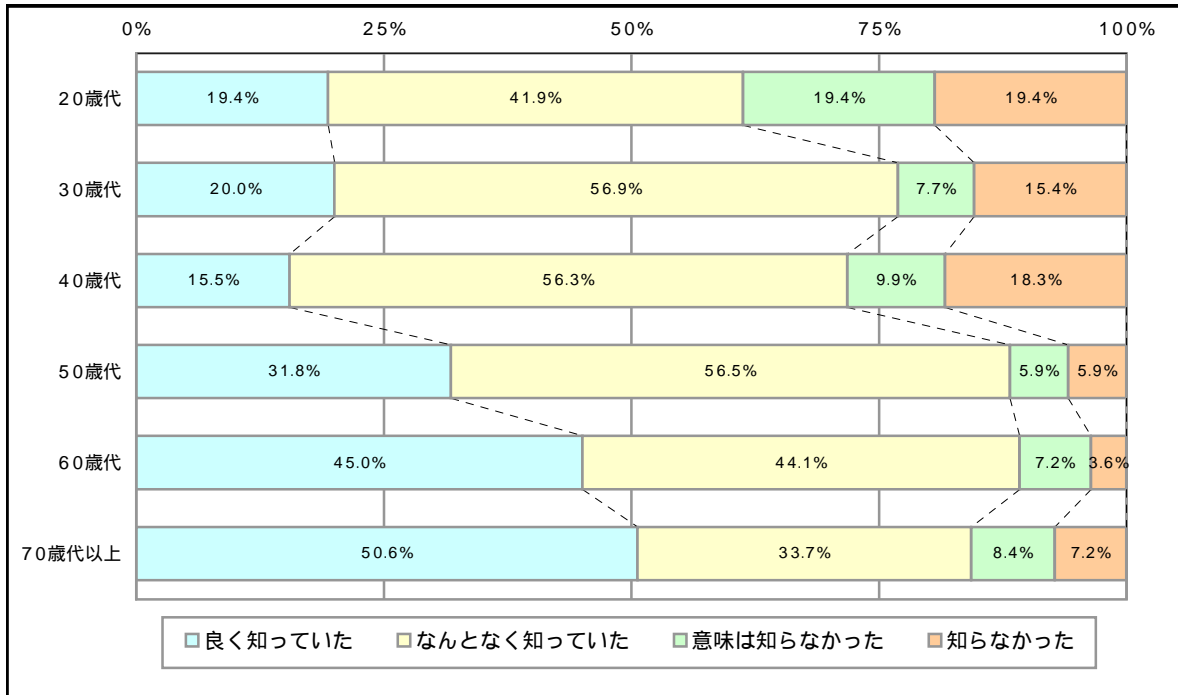


	テレビ	ラジオ	知人や近所の人	パソコン	携帯
20歳代	13人 (46.4%)	1人 (3.6%)	3人 (10.7%)	2人 (7.1%)	9人 (32.1%)
30歳代	37人 (60.7%)	4人 (6.6%)	0人 (0.0%)	2人 (3.3%)	18人 (29.5%)
40歳代	48人 (71.6%)	0人 (0.0%)	2人 (3.0%)	2人 (3.0%)	15人 (22.4%)
50歳代	55人 (68.8%)	6人 (7.5%)	3人 (3.8%)	1人 (1.3%)	15人 (18.8%)
60歳代	85人 (83.3%)	1人 (1.0%)	3人 (2.9%)	1人 (1.0%)	11人 (10.8%)
70歳代以上	64人 (84.2%)	3人 (3.9%)	2人 (2.6%)	0人 (0.0%)	6人 (7.9%)
総数	302人 (72.9%)	15人 (3.6%)	13人 (3.1%)	8人 (1.9%)	74人 (17.9%)

	その他	総数
20歳代	0人 (0.0%)	28人 (100.0%)
30歳代	0人 (0.0%)	61人 (100.0%)
40歳代	0人 (0.0%)	67人 (100.0%)
50歳代	0人 (0.0%)	80人 (100.0%)
60歳代	1人 (1.0%)	102人 (100.0%)
70歳代以上	1人 (1.3%)	76人 (100.0%)
総数	2人 (0.5%)	414人 (100.0%)

テレビの割合がいずれの世代においても高く、年齢層が高くなるにつれて割合が高まる傾向となっている。

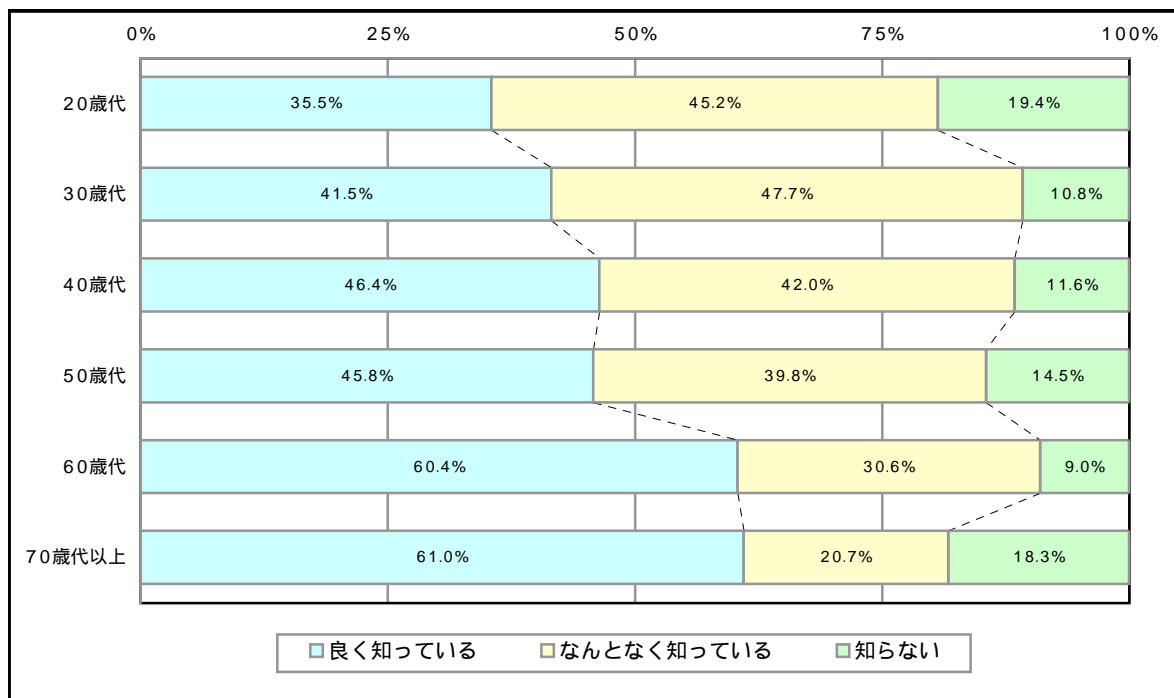
問15 「特別警報」についてご存知でしたか。〔年齢層別〕



	良く知っていた	なんとなく知っていた	意味は知らなかった	知らなかった	総数
20歳代	6人 (19.4%)	13人 (41.9%)	6人 (19.4%)	6人 (19.4%)	31人 (100.0%)
30歳代	13人 (20.0%)	37人 (56.9%)	5人 (7.7%)	10人 (15.4%)	65人 (100.0%)
40歳代	11人 (15.5%)	40人 (56.3%)	7人 (9.9%)	13人 (18.3%)	71人 (100.0%)
50歳代	27人 (31.8%)	48人 (56.5%)	5人 (5.9%)	5人 (5.9%)	85人 (100.0%)
60歳代	50人 (45.0%)	49人 (44.1%)	8人 (7.2%)	4人 (3.6%)	111人 (100.0%)
70歳代以上	42人 (50.6%)	28人 (33.7%)	7人 (8.4%)	6人 (7.2%)	83人 (100.0%)
総数	149人 (33.4%)	215人 (48.2%)	38人 (8.5%)	44人 (9.9%)	446人 (100.0%)

・若年齢層の方が、特別警報に対する認識が低くなっている。

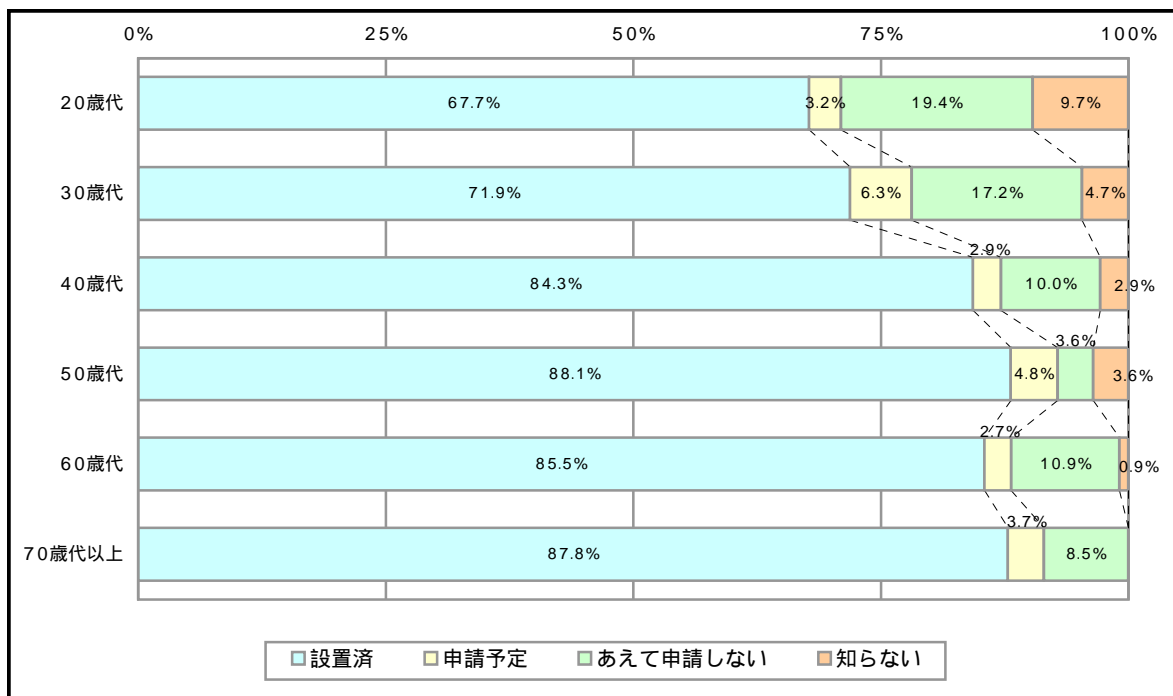
問16 近くの「避難所」をご存知ですか。〔年齢層別〕



	良く知っている	なんとなく知っている	知らない	総数
20歳代	11人 (35.5%)	14人 (45.2%)	6人 (19.4%)	31人 (100.0%)
30歳代	27人 (41.5%)	31人 (47.7%)	7人 (10.8%)	65人 (100.0%)
40歳代	32人 (46.4%)	29人 (42.0%)	8人 (11.6%)	69人 (100.0%)
50歳代	38人 (45.8%)	33人 (39.8%)	12人 (14.5%)	83人 (100.0%)
60歳代	67人 (60.4%)	34人 (30.6%)	10人 (9.0%)	111人 (100.0%)
70歳代以上	50人 (61.0%)	17人 (20.7%)	15人 (18.3%)	82人 (100.0%)
総数	225人 (51.0%)	158人 (35.8%)	58人 (13.2%)	441人 (100.0%)

・20歳代、70歳代以上が、避難所に対する認識が低くなっている。

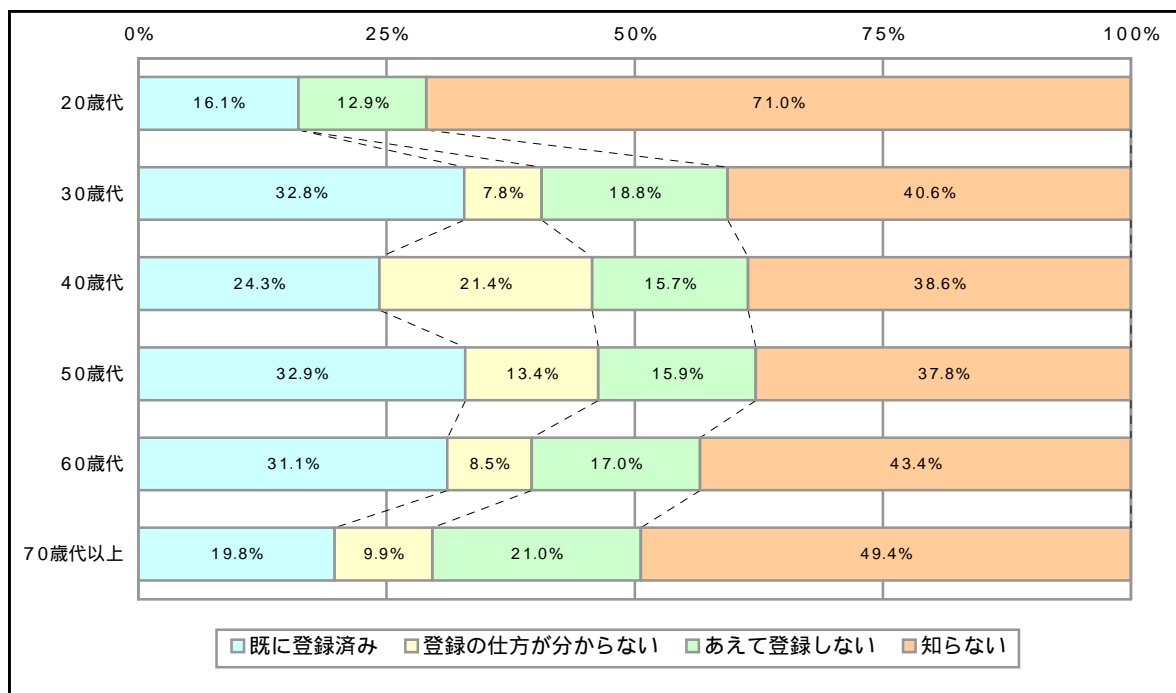
問 1 7 「防災情報受信機（防災ラジオ）をご存知ですか。〔年齢層別〕



	設置済	申請予定	あえて申請しない	知らない	総数
20歳代	21人 (67.7%)	1人 (3.2%)	6人 (19.4%)	3人 (9.7%)	31人 (100.0%)
30歳代	46人 (71.9%)	4人 (6.3%)	11人 (17.2%)	3人 (4.7%)	64人 (100.0%)
40歳代	59人 (84.3%)	2人 (2.9%)	7人 (10.0%)	2人 (2.9%)	70人 (100.0%)
50歳代	74人 (88.1%)	4人 (4.8%)	3人 (3.6%)	3人 (3.6%)	84人 (100.0%)
60歳代	94人 (85.5%)	3人 (2.7%)	12人 (10.9%)	1人 (0.9%)	110人 (100.0%)
70歳代以上	72人 (87.8%)	3人 (3.7%)	7人 (8.5%)	0人 (0.0%)	82人 (100.0%)
総数	366人 (83.0%)	17人 (3.9%)	46人 (10.4%)	12人 (2.7%)	441人 (100.0%)

・防災ラジオについての認知度は全体的に高いが、20歳代が少し低くなっている。
 ・若年齢の方が設置済みの割合が低く、あえて申請しないの割合が高くなっている。

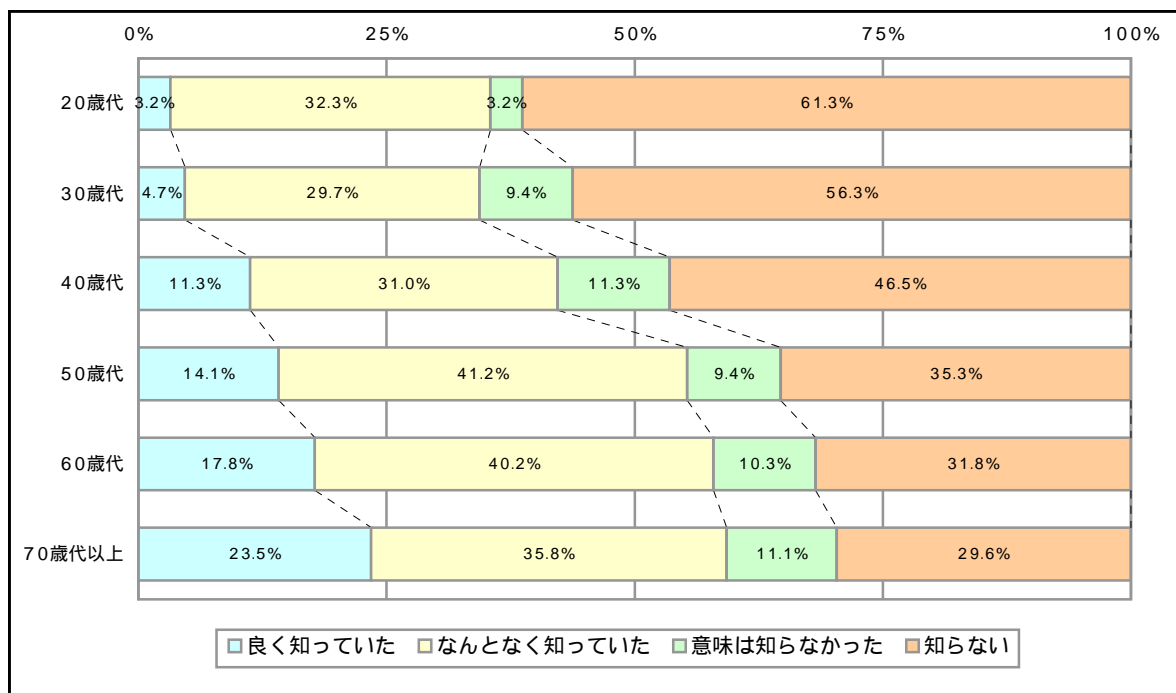
問18 「防災情報配信メール(TonBoメール)」をご存知ですか。〔年齢層別〕



	既に登録済み	登録の仕方が分からない	あえて登録しない	知らない	総数
20歳代	5人 (16.1%)	0人 (0.0%)	4人 (12.9%)	22人 (71.0%)	31人 (100.0%)
30歳代	21人 (32.8%)	5人 (7.8%)	12人 (18.8%)	26人 (40.6%)	64人 (100.0%)
40歳代	17人 (24.3%)	15人 (21.4%)	11人 (15.7%)	27人 (38.6%)	70人 (100.0%)
50歳代	27人 (32.9%)	11人 (13.4%)	13人 (15.9%)	31人 (37.8%)	82人 (100.0%)
60歳代	33人 (31.1%)	9人 (8.5%)	18人 (17.0%)	46人 (43.4%)	106人 (100.0%)
70歳代以上	16人 (19.8%)	8人 (9.9%)	17人 (21.0%)	40人 (49.4%)	81人 (100.0%)
総数	119人 (27.4%)	48人 (11.1%)	75人 (17.3%)	192人 (44.2%)	434人 (100.0%)

- ・特に20代については、他の世代と比べて登録済みの割合が低く、知らないの割合が高くなっている。
- ・30代以降については、登録の仕方が分からないの割合が高くなっている。

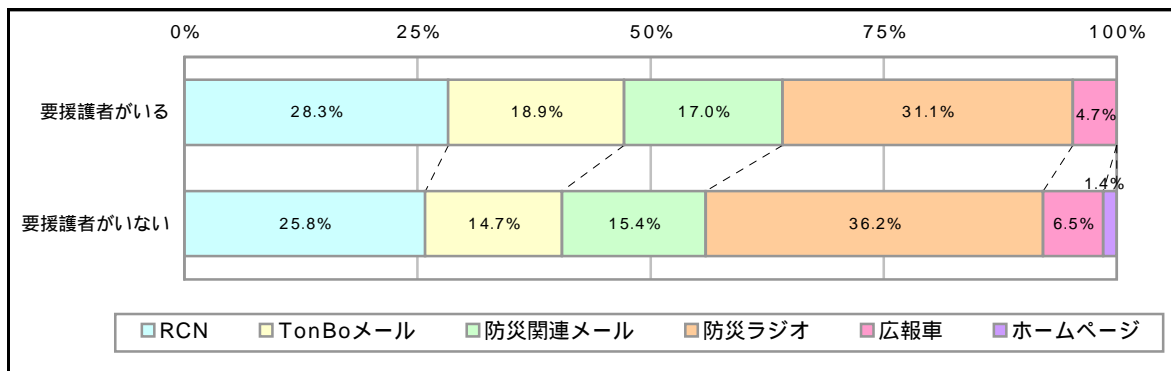
問 2 1 「災害時要援護者」についてご存知でしたか。〔年齢層別〕



	良く知っていた	なんとなく知っていた	意味は知らなかった	知らない	総数
20歳代	1人 (3.2%)	10人 (32.3%)	1人 (3.2%)	19人 (61.3%)	31人 (100.0%)
30歳代	3人 (4.7%)	19人 (29.7%)	6人 (9.4%)	36人 (56.3%)	64人 (100.0%)
40歳代	8人 (11.3%)	22人 (31.0%)	8人 (11.3%)	33人 (46.5%)	71人 (100.0%)
50歳代	12人 (14.1%)	35人 (41.2%)	8人 (9.4%)	30人 (35.3%)	85人 (100.0%)
60歳代	19人 (17.8%)	43人 (40.2%)	11人 (10.3%)	34人 (31.8%)	107人 (100.0%)
70歳代以上	19人 (23.5%)	29人 (35.8%)	9人 (11.1%)	24人 (29.6%)	81人 (100.0%)
総数	62人 (14.1%)	158人 (36.0%)	43人 (9.8%)	176人 (40.1%)	439人 (100.0%)

・災害時に、「要援護者」として援護をうける可能性の高い高齢者ほど、認知度が高く、逆に援護する側となる可能性の高い若年齢層ほど、低くなっている。

問 1 2 最も有効だった情報源はどれですか。 Aグループ〔「災害時要援護者」同居状況別〕

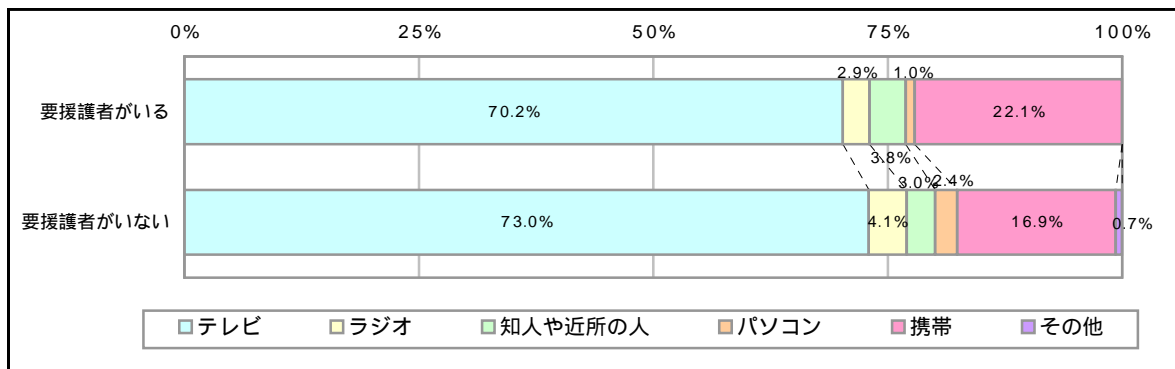


	RCN	TonBoメール	防災関連メール	防災ラジオ	広報車
要援護者がいる	30人 (28.3%)	20人 (18.9%)	18人 (17.0%)	33人 (31.1%)	5人 (4.7%)
要援護者がいない	72人 (25.8%)	41人 (14.7%)	43人 (15.4%)	101人 (36.2%)	18人 (6.5%)
総数	102人 (26.5%)	61人 (15.8%)	61人 (15.8%)	134人 (34.8%)	23人 (6.0%)

	ホームページ	総数
要援護者がいる	0人 (0.0%)	106人 (100.0%)
要援護者がいない	4人 (1.4%)	279人 (100.0%)
総数	4人 (1.0%)	385人 (100.0%)

・要援護者がいるかどうかで傾向に大きな違いはあまり見られない。
 ・若干ではあるが、要援護者がいる回答者は、RCN、TonBoメールの割合が高く、防災ラジオの割合が低くなっている。

問 1 2 最も有効だった情報源はどれですか。 Bグループ〔「災害時要援護者」同居状況別〕

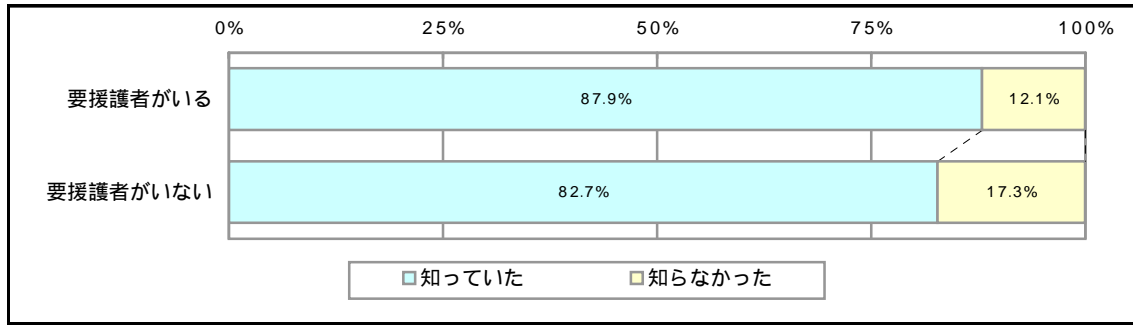


	テレビ	ラジオ	知人や近所の人	パソコン	携帯
要援護者がいる	73人 (70.2%)	3人 (2.9%)	4人 (3.8%)	1人 (1.0%)	23人 (22.1%)
要援護者がいない	216人 (73.0%)	12人 (4.1%)	9人 (3.0%)	7人 (2.4%)	50人 (16.9%)
総数	289人 (72.3%)	15人 (3.8%)	13人 (3.3%)	8人 (2.0%)	73人 (18.3%)

	その他	総数
要援護者がいる	0人 (0.0%)	104人 (100.0%)
要援護者がいない	2人 (0.7%)	296人 (100.0%)
総数	2人 (0.5%)	400人 (100.0%)

・要援護者がいるかどうかで傾向に大きな違いはあまり見られない。
 ・若干ではあるが、要援護者がいる回答者は、テレビの割合が低く、携帯の割合が高くなっている。

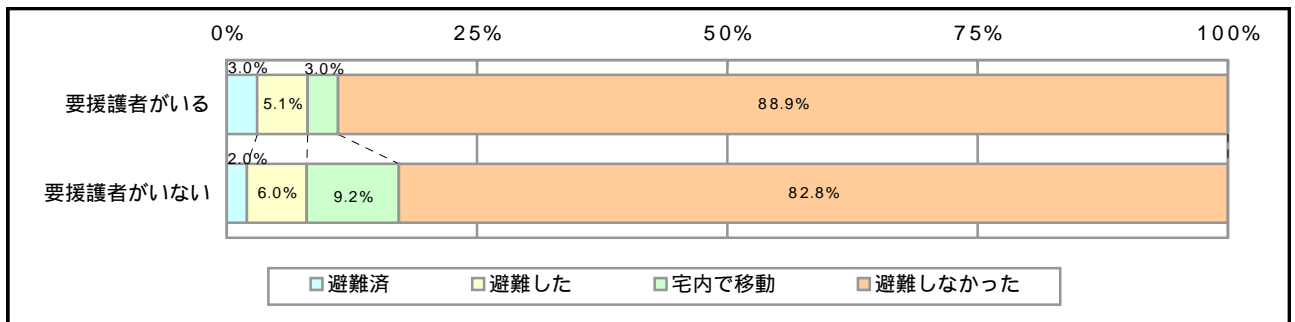
問7 1) 「避難勧告」が出されたことをご存知でしたか。〔「災害時要援護者」同居状況別〕



	知っていた	知らなかった	総数
要援護者がいる	102人 (87.9%)	14人 (12.1%)	116人 (100.0%)
要援護者がいない	259人 (82.7%)	54人 (17.3%)	313人 (100.0%)
総数	361人 (84.1%)	68人 (15.9%)	429人 (100.0%)

・要援護者がいる回答者の方が避難勧告が出たことを知っている割合が高い。

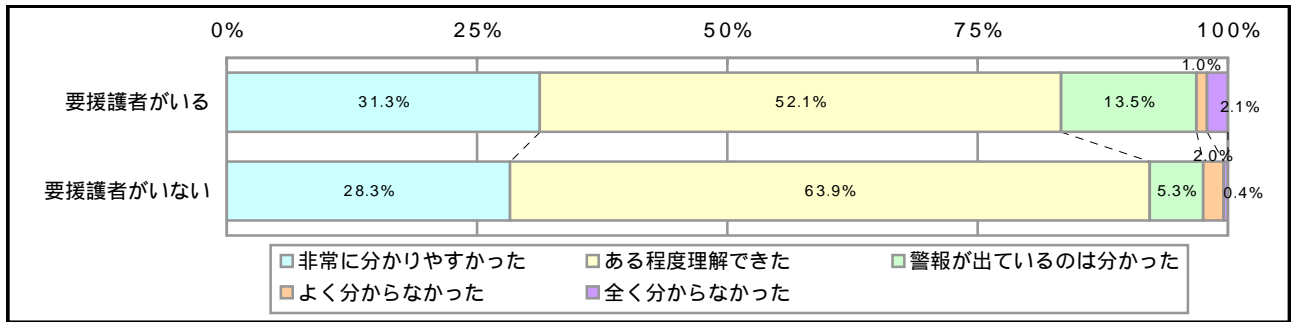
問8 「避難勧告」が出た後、どのように行動しましたか。〔「災害時要援護者」同居状況別〕



	すでに自宅から他の場所へ避難していた	自宅から他の場所へ避難した	自宅より安全と思う場所に移動した	特に避難行動を取らなかった	総数
要援護者がいる	3人 (3.0%)	5人 (5.1%)	3人 (3.0%)	88人 (88.9%)	99人 (100.0%)
要援護者がいない	5人 (2.0%)	15人 (6.0%)	23人 (9.2%)	207人 (82.8%)	250人 (100.0%)
総数	8人 (2.3%)	20人 (5.7%)	26人 (7.4%)	295人 (84.5%)	349人 (100.0%)

・宅外に避難した割合は、要援護者がいる場合もない場合も同じ割合となっていた。
 ・しかし、宅内で移動した割合は、要援護者がいる場合は低くなっている。

問13 お知らせした情報については、分かりやすかったですか。〔「災害時要援護者」同居状況別〕

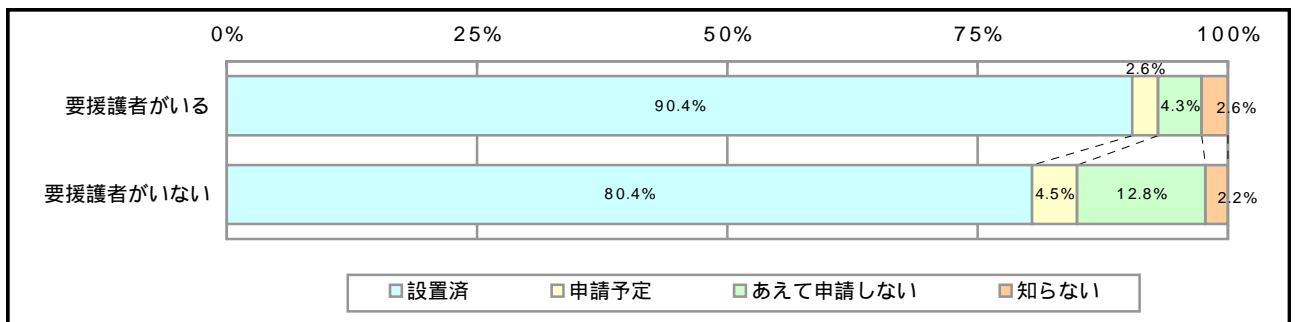


	非常に分かりやすかった	ある程度理解できた	警報が出ているのは分かった	よく分からなかった
要援護者がいる	30人 (31.3%)	50人 (52.1%)	13人 (13.5%)	1人 (1.0%)
要援護者がいない	69人 (28.3%)	156人 (63.9%)	13人 (5.3%)	5人 (2.0%)
総数	99人 (29.1%)	206人 (60.6%)	26人 (7.6%)	6人 (1.8%)

	全くわからなかった	総数
要援護者がいる	2人 (2.1%)	96人 (100.0%)
要援護者がいない	1人 (0.4%)	244人 (100.0%)
総数	3人 (0.9%)	340人 (100.0%)

・要援護者がいる回答者の方が、理解できた(非常にわかりやすかった、ある程度理解できた)割合が低く、また警報が出ているのは分かったと回答した割合が高い。

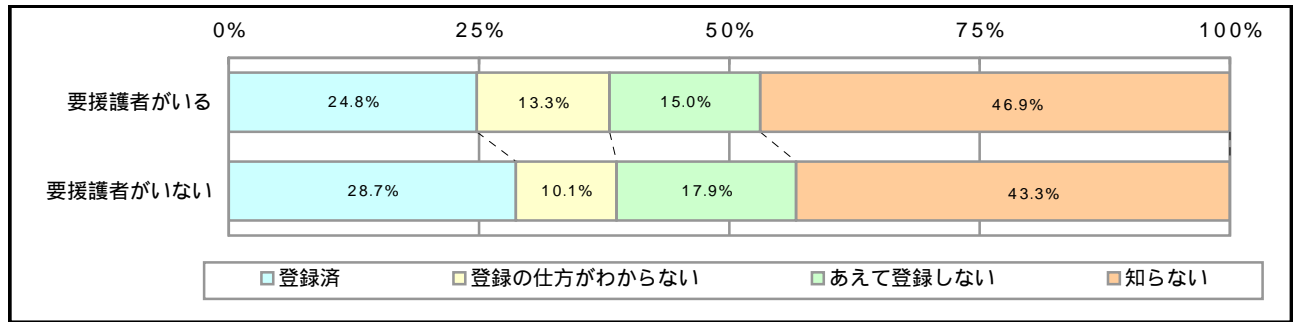
問17 防災情報受信機(防災ラジオ)をご存知ですか。〔「災害時要援護者」同居状況別〕



	設置済	申請予定	あえて申請しない	知らない	総数
要援護者がいる	104人 (90.4%)	3人 (2.6%)	5人 (4.3%)	3人 (2.6%)	115人 (100.0%)
要援護者がいない	251人 (80.4%)	14人 (4.5%)	40人 (12.8%)	7人 (2.2%)	312人 (100.0%)
総数	355人 (83.1%)	17人 (4.0%)	45人 (10.5%)	10人 (2.3%)	427人 (100.0%)

・要援護者がいる回答者の方が、設置している割合が高くなっている。

問 1 8 防災情報配信メール(TonBoメール)をご存知ですか。〔「災害時要援護者」同居状況別〕



	登録済	登録の仕方がわからない	あえて登録しない	知らない	総数
要援護者がいる	28人 (24.8%)	15人 (13.3%)	17人 (15.0%)	53人 (46.9%)	113人 (100.0%)
要援護者がいない	88人 (28.7%)	31人 (10.1%)	55人 (17.9%)	133人 (43.3%)	307人 (100.0%)
総数	116人 (27.6%)	46人 (11.0%)	72人 (17.1%)	186人 (44.3%)	420人 (100.0%)

・要援護者がいる場合の方が、登録済みの割合が低く、また登録の仕方がわからない、知らないの割合が高い。

[参考資料 1 台風 18 号における住民広報手段一覧表]

時間	広報内容	C A T V	防災ラジオ	トポメール	H P	緊急速報メール	広報車
9/15 20:28	大雨・洪水警報発表	○		◎	○		
9/16 3:06	土砂災害警戒情報発表	○		◎	○		
4:15	笙の川左岸 避難準備情報	○		○	○		○
5:05	大雨特別警報発表	○		○	△		
5:25	笙の川左・右岸 避難勧告	○	○	○	○	○	○
6:13	杳見小 避難所追加	○	○	○	△	○	○
6:40	櫛林、砂流 避難勧告追加	○	○	○	△	○	○
8:50	市内全域 避難勧告(土砂)	○	○	○	△	○	○
11:15	大雨特別警報解除 笙の川周辺、櫛林、砂流 避難勧告解除	○	○	○	△	○	○
11:50	避難勧告全解除	○	○	○	△	○	○

(◎ : Jアラート自動配信、○ : 手動配信、△ : トポメールと連動し掲載)

※広報手段の解説

- C A T V : ケーブルテレビ (R C N) の防災放送チャンネル[防災専用]
- 防災ラジオ : 防災情報受信機 [コミュニティFM利用: 1世帯に1台貸与]
- トポメール : 敦賀市防災情報配信メール [事前登録型メール]
- H P : 敦賀市のホームページ
- 緊急速報メール : 敦賀市から携帯電話会社を経由して発信した防災関連メール
- 広報車 : 市役所や消防等の広報車

[参考資料 2 災害対策本部 時系列]

日 時	笙の川水位	時間別降雨量	災害対策本部	警報・注意報
9/15 20:00	77 cm	4.5 mm		
20:28				大雨洪水警報
21:00	95 cm	12.5 mm		
22:00	102 cm	3.5 mm		
23:00	113 cm	9.0 mm		
9/16 0:00	128 cm	12.0 mm		
1:00	164 cm	21.5 mm		
1:10	170 cm		笙の川氾濫注意水位	
1:55			水防連絡会議	
2:00	209 cm	18.5 mm		
2:10	210 cm		笙の川避難判断水位	
3:00	230 cm	22.0 mm	① 災害対策本部会議	
3:06				土砂災害警戒情報
3:30			② 災害対策本部会議	
3:40			笙の川氾濫危険水位	
4:00	269 cm	23.0 mm	③ 災害対策本部会議	
4:15			避難準備情報 発令	
4:40			④ 災害対策本部会議	
5:00	296 cm	13.0 mm		
5:05				大雨特別警報 発表
5:15			⑤ 災害対策本部会議	
5:25			避難勧告 (10 地区)	
5:50			⑥ 災害対策本部会議	
6:00	315 cm	17.0 mm		
6:13			沓見小避難所開設	
6:25			⑦ 災害対策本部会議	
6:40			避難勧告 (2 地区)	
7:00	345 cm	17.0 mm	⑧ 災害対策本部会議	
7:40	363 cm			
7:45			⑨ 災害対策本部会議	
8:00	359 cm	11.5 mm		
8:50			市内全域避難勧告	
9:00	316 cm	2.5 mm	⑩ 災害対策本部会議	
10:00	277 cm	3.0 mm	⑪ 災害対策本部会議	
10:56				大雨特別警報 解除

[参考資料2 災害対策本部 時系列]

日 時	笹の川水位	時間別降雨量	災害対策本部	警報・注意報
11:00	246 cm	0.0 mm	⑫ 災害対策本部会議	
11:45			⑬ 災害対策本部会議	
12:00	224 cm	0.0 mm		
13:00	210 cm	1.5 mm		
14:00	199 cm	0.0 mm		
14:18				洪水警報→注意報
18:45				土砂災害警戒情報解除
19:00			災害対策本部解散	
20:25				大雨警報解除